

# オ-ラ

# 夏

カナダのライフスタイル誌・1998年夏 第23号



赤い実の洪水・バラのクランベリー  
の収穫・津島見/カナダで  
引退・農場で悠々自適の  
早野宏夫妻/日系3世女性  
作家ケリー・サカモト

\$3.50

PLAYING **THE KABOOM BOX**  
AT **EXTREME**  
SOUND LEVELS  
WILL DEFINITELY  
MESS WITH THE RIGHT PEOPLE

**60 WATTS**

**DUAL SUBS**

**STRAP IT ON**

**REMOTE**

**JVC**  
21 FINCHdene SQUARE,  
SCARBOROUGH, ON M1X 1A7  
TEL.: (416) 293-1311  
FAX: (416) 293-8208

Radical super woofer powered portable CD system... RV-B90

C O N T E N T S

# オーロラ 夏

カナダのライフスタイル誌

1998年夏 第23号

カナダで引退、農場で悠々自適、早野宏・千恵子夫妻を訪ねて	
花作り土いじりの豊かな生活	杉山園子 8
某月某日「第二の人生設計」	半田宏治 12
新しい世代! 日系3世女性作家	16
「エレクトリカル・フィールド」でデビューしたケリー・サカモト	
赤い実の洪水/バラのクランベリーの収穫	津島 晃 20
ウエスト・コースト北部美術散歩	山本 博 24
シアトル美術館とエミリー・カーを訪ねて	
マイク佐藤のいい湯だな「幻の温泉発見記」	28
”天使の泉” <i>Angel Kelowna Warm Spring</i>	

夏のイベントカレンダー	2
表紙の言葉	日塔富夫 4
ピカソ展を見て	田島高志 5
見たり聴いたり試したり	6
トレーディング・ルームから	水谷雅和 11
「悪平等」と「アンフェア」と	青柳俊明 14
東京裏通信「学習塾事情」	尼子三矢子 15
インサイド・アウトサイド 「ピダン現象」	高中公男 18
オンタリオ州で自動車免許証を取る	後藤順子 19
「しこり」コリゴリ記(完) 回復をめざして	真矢ときこ 22
星学エッセイ「銀河鉄道の夜の星」	月華麗 23
「街のうわさ」 <i>Big is Beautiful!</i>	エリザベス山下 27
今日はどこへ行こうかな?	森貞一弘 30
「猫と残業」	梶原由佳 32
日塔富夫の映画エッセイ”ザ・トルーマン・ショー”	33
「アヒルの天国」	鈴木雄一朗 34
ゆきかう想いの中で「母の日」	長井東美 35
不老長寿の薬を探して	後藤順子 36
ダンス・ダンス・ダンス	村越直子 37
さすらいの中年・・・「高田たかしさんを悼む」	38
OCS新刊紹介「猫たちの隠された生活」	森貞一弘 39
編集室から	40

表紙 日塔富夫 デザイン 山本博・野尻佳子  
1部 3ドル50セント



トロント

★イベント

▽トロント屋外芸術祭  
芸術を祝うお祭り

七月十日〜十二日  
十五分野に渡る五百人にも及ぶ  
芸術家達が千百以上の作品を  
トロント市庁舎前の広場に展  
示、最優秀作品には二万ドルの賞  
金が七月十一日午後四時半に  
発表される。色とりどりで面白  
い世界で一つしかない個性的な  
作品のショッピングも楽しい。

入場料 五ドル  
トロント市庁(416)4082754

▽ピクトリア調査話絵画展

六月二十日〜九月十三日  
十九世紀に英国、ピクトリア王  
朝期に描かれた風俗画が貴方を

不思議な伝説と童話の世界へと  
導きます。アイオワ大学と英国  
ロイヤル・アカデミーの協賛  
問い合わせ A G O (416)9796648

▽ピクトリアとアルバート博物館

六月二十一日〜九月十二日  
絵画、彫刻、ファッション、装飾  
品、宝石類など二百五十品目を  
展示。殆どは歴史的に有名な人  
物と関係のある作品ばかり。カ  
ナダでは初公開。  
問い合わせ R O M (416)5888000



▽スパイスの効いた激辛食品祭り

八月十四日〜十六日  
香辛料をふんだんに使用しかつ  
激辛に仕上げた食事のお祭り。  
試食、講演、映画、音楽など盛  
りだくさん。  
ハーバーフロント・センター  
問い合わせ(416)973-3000

★コンサート・公演

▽ミュージカル「ああ無情」

七月十五日〜八月八日  
前回、好評でロングランだった  
(ダイアナ妃もトロント滞在中、  
ご覧になった)ミュージカル「レ」



「ミゼラブル」が豪華キャストを組  
んで再び帰ってきた。三週間の  
限定公演なので、お見逃しな  
く。  
プリンセス・オブ・ウエールズ劇場  
問い合わせ(416)5934225  
(後藤)

モントリオール

長い厳しい冬を耐えてきた人々  
は、春が訪れると一斉に外に飛  
び出し、短い夏を思いっきり楽し  
もうとする。夏の間はTV番組  
もつまらないし、政治経済論争  
も秋までお休み。それに代わって  
モントリオールの夏は街にサイ  
クリストが溢れ、カフェテラスは  
賑わい、夕食時には家々からパ  
ーベキューの煙が漂う。ラテン民  
族の血が騒ぐのか、はたまたジョ  
ワ・ド・ヴィーヴル(生きる喜び)  
の表明か、モントリオールっ子は  
お祭り騒ぎが大好き。北米の文  
化芸術のメッカと自認するモン  
トリオールでは、家族ぐるみで  
楽しんで、お値段も手ごろ(もし  
くは無料)、芸術性豊かなビッグ  
イベント・フェスティバルに事欠  
かない。



日新

NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送/倉庫保管/トラック運送/

海外・国内引越し/事務所移転...その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、  
香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び

"NISSIN" による安くて、早くて、確実なサービスを提供致します。

TORONTO/ 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3  
Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881

VANCOUVER/ #150 2501 Viceroy Place Richmond, B. C. V6V 1Y9  
Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

★ペンソン・アンド・ヘッジ  
ス国際花火大会

(七月十九日まで)

六月中は水、土曜日、七月は日曜の夜十時から約三十分、イタリヤ、フランス、スペインなど八カ国が音楽と花火を競い合う。日本の伝統的な花火師は音楽に合わせてるなんて、邪道だと言われど、スケーターワルツにのって花火が夜空を滑っていくなどはまことに素晴らしい。会場のラウンド遊園地には二五〇六五ドルで入れば乗り物は乗り放題、花火も特等席で見られるけれど、モントリオールつ子は無駄金は使わない。モントリオール市の粋な計らいで自動車の通行止めをしたジャック・カルチエ橋から見物する。

★モントリオール国際ジャズ・フェスティバル

(七月一日〜十二日)

二十カ国から二千人の有名、無名のミュージシャンが集まり、四百のコンサートが開かれる。そのうち三百は無料で、大半は野外ステージで演奏される。だけどやっぱりジャズはニューヨーク、シカゴじゃないのと言うのはちよつと待って。野外コンサートに一日



に十万人の観客を受け入れ、しかも安全かつ清潔さを持ったことが出来る都市はそうざらにはないのです。

ライブを盛り上げるのは観客とも言えるが、その点モントリオールつ子の音楽センスはなかなかのもの。よいものには惜しみなく拍手、口笛、歓声を送る。これは地下鉄や街角のミュージシャンにも言えることだが、上手な人はお金を沢山集めるが、下手な人は見向きもされない。結構厳しいです。この人は。

(514) 871-1881



★ジャスト・フォア・ラフ、お笑いフェスティバル

(七月十五〜二十六日)

十四カ国から六百人のアーティストが面白おかしい笑いをひっさげてくる。約一千の出し物が演じられるが、早口でまくし立てたり、ローカルな話題のジョークだったりするとみんなが笑っているのに、おかしさがわからなくてちよつと悲しい。もちろん見ているだけでコミックなものもある。このフェスティバルには、面白い出し物を発掘しよう、アメリカ、ヨーロッパからプロデューサーが見に来るので、お笑いの登竜門とも言える。(514) 845-3155

★モントリオール国際映画祭

(八月二七日〜九月七日)

今年で第二二回を迎える映画祭。期間中は約十の会場で、朝九時から夜中の十二時まで上映され、毎年三五万の観客を集める。この時期に合わせてパカンスをとる映画狂もいて、新しい映画、また劇場では普通あまり見られない映画を楽しむ。良い映画には最後に拍手を送るが、つまらないと途中でさっさと出て行く。モントリオールには映画館が沢山あって、今でも映画の人氣は高い。ここではよく映画撮影もされる。映画通が多いのだ。(514) 848-3883

こうして楽しかったお祭り騒ぎが終わり、秋も深まってブックフェアの開かれる頃には、長い冬ごもりの準備が始められる。

(萩原久美子)

バンクーバー

ウエット・コーストといわれ、多雨地帯のバンクーバーも夏場はからりとした晴天が続く。四月のバンクーバー・サン・ランの頃からスタートした野外活動がいつそう活発になる。

★サマー・スポーツ

▽九八年水上スキーとウエイクボード・ワールドカップ



日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of  
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3

Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

七月二四〜二六日、アボットス  
フォード、アルバート・ディック・  
パーク

世界のトップ選手が集まって水  
上スキーのジャンプや回転を競  
う夏ならではの競技  
問い合わせ(604) 334-6541

▽グレーター・バンクーバー・オー  
ブン

八月二四〜三十日、ノースビュ  
ー・ゴルフ・カントリークラブ  
アーノルド・パーマーがデザイン  
したコースでのPGA

問い合わせ(604) 899-4641

▽モルソン・インディー・バンクーバ  
ー

九月四日〜六日、ファルスクリ  
ーク、チケット(604) 280 INDY  
ファックス・インフォ(604) 895-7234

*Symphony of Fire*



★花火

▽ベンソン・アンド・ヘッジス・シンフ  
ォニー・オブ・ファイア

ノースシヨアの山と海をバックに  
イングリッシュベイで毎年行われ  
る音と光の祭典、今年は英国  
(七月二五日)、イタリー(七月  
二九日)、スペイン(八月一日)  
の三カ国が競演。八月五日がグ  
ランド・フィナーレ。

問い合わせ(604) 738-4304

★バンクーバー・シンフォニ  
ー野外コンサート

・ディアレーク・パーク・コンサート  
ピクニック・バスケットとブランケ  
ットを持って、イーブンング・コン  
サートをお楽しみください。(七  
月二四日)

・星空のコンサート、グルーズ・マ  
ウンテン(七月二六日、八月八  
日)

・シンフォニー・イン・サマー、CBC  
チャン・センター・フォア・パフォ  
ーミングアーツ(七月三十日、八  
月六日)

問い合わせ(604) 876-3434



★ダンス

ロブソン・スクエア・コンフェレンス  
・センターで

▽サマー・スクエア・ダンス・シリー  
ズ(八月四、一八、二四日)

▽ボールルーム・ダンシング

BCアマチュア・ダンサー協会  
(八月七、一四、二一、二八日)  
問い合わせ(604) 661-7373

★Down to Earth Dinner Seminar

Series

毎回自然食専門家を招いての自  
然食セミナー、ウオーターフロン  
ト・センター・ホテル

・お客様のためのディナー・シリー  
ズ(七月二九日)

・アユエタ・チームによるパソ  
ナル・ナチュラル・ケア(八月一九  
日)

問い合わせ(604) 691-1991 Ex3133

★その他

▽インディアン・&・イヌイット・ア  
ーツ巡回展

七月七日〜十二月三十一日  
CBC考古博物館

インディアンとイヌイットの現代  
第一線アーティストの作品展示  
問い合わせ(604) 822-3825

▽Enchanted Evening

明朝のランタンの下、ドクター・  
シユン・イアト・センのチャイニー  
ズ・ガーデンで伝統と現代のア  
ジア音楽のパフォーマンス。七月  
十日から八月二八日まで毎週  
金曜夜。

問い合わせ(604) 683-0883

▽第十四回アニエアル・ディスクバ  
リー・デー

七月二五日  
シャドボルト・センターで行われ  
るバーナビー最大のコミュニティ・  
フェスティバル、

問い合わせ(604) 205-3000

★ミュージカル「レント」

ボーグ・シアター

九月八日  
九六年トニー賞ベストミュージカ  
ルと同年のピューリッツァ賞を受  
賞した話題のミュージカル。九月  
ともなればそろそろ劇場が恋し  
くなる。

問い合わせ(604) 280-4444 (K・H)

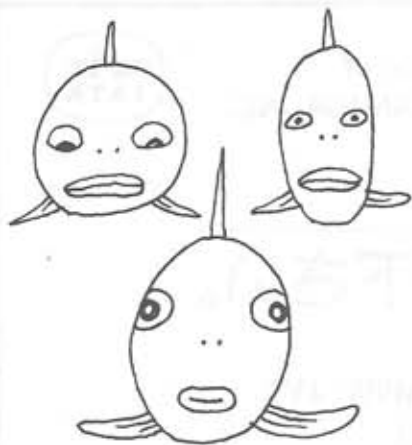
◇表紙の言葉

日塔富夫

YMCAのプールとジョージアン・  
ベイのトバーモリで訓練を受け、スク  
ーバ・ダイビングのライセンスを取っ  
て、もう十七年になる。そして、いつ  
も海の生き物達の多様さと美しさに  
驚かされてしまう。特に小さい物ほ  
ど、色、形と精巧になり、貝はもちろ  
ん、魚だって宝石細工よりきれいだ。  
もちろん、大きな魚だってかっこい

い。一メートルを越すバラクーダは野  
武士の貫禄があるし、ステイングレイ  
の泳ぐ姿は宇宙船を想わせる。そし  
てドルフィン。彼とは水中で視線を合  
わせた事がある。

魚の姿を前から見ると、そこに個  
性のある顔がある。人間の顔とよく  
似ている。目の大きい顔、シリアスな  
顔、眠そうな顔、おちよぼ口の顔、あ  
いきょうのある顔。そこには、田中さ  
ん、森本さん、スミスさん、橋本さ  
ん、パーカーさんの顔がある。



# ピカソ展を見て

田島 高志



私が一九九五年の十二月に在加特命全権大使としてカナダに赴任して以来、オタワのナショナル・ギャラリーでは、一昨年はコロッセ、昨年はルノワール展、今回はピカソ展と毎年オタワの春にふさわしい素晴らしい絵画展が実施されています。

今回のピカソ展はアトランタのハイ美術館とオタワのナショナル・ギャラリーだけを巡回していますが、出品作品は全てニューヨーク近代美術館が所蔵するものです。夏のハイシーズンに多くの有名な作品を借り出すことが可能となったのは、オタワのナショナル・ギャラリー関係者の熱意と努力があったと聞いています。

今回のピカソ展は絵画、デッサン、版画、彫刻等約百点のヴァラエティーにとんだ様々な作品を集めており、ピカソの作品のテーマ毎に展示されています。例えばニューヨークの近代美術館で見られるような通常の年代順の展示に比べピカソの作品のスタイルとテーマの変遷、殊に人物としてのピカソの思想の変遷が把握しやすいように展示されています。

ピカソは情熱の人として知られており、破滅的な女性関係を繰り返

返したことで知られています。ピカソは多くの女性画で美しい顔とグロテスクな顔を同時に描いています。ピカソ自身自身の愛と憎しみの反映なのか、女性自身に二面性があると訴えようとしたのでしょうか。今回の展示作品の中の著名な作品「鏡の前の女」は、太い輪郭と多様な色面が、ステンドグラスを連想させますが、この作品の中では女性の顔が太陽と月に分かれており、鏡には暗いさびしげな顔が描かれています。私には顔が一つだけではないこと、一側面だけではないことが極めて印象的に思われます。何事でも物事を一面的に捉えないことは重要なことかもしれません。

この作品の他、立体派の達成を踏まえながら人間を描いた情感深う「三人の音楽家」、バラ色の時代に描かれた「馬を引く少年」、母を亡くした直後に描かれ、第二次世界大戦到来を予感させることなく不気味な「アンティープの夜釣り」等、絵画の著名な作品加えてリトグラフにも見るべきものが沢山あります。特に圧巻なのは「雄牛」シリーズでしょう。この作品写実の「雄牛」がピカソの世界の「雄牛」となる、その創作過程を如実に示すものであり、ピカソの非凡さを目の当たりにさせられます。

今回の展示は作品を見るというよりもピカソ自身の生涯の展示を見ているかのように思われます。ピカソの場合、作品とその人生は切

り離しては語れないのかも知れません。その全てを賞賛すべき人生ではないにせよ、自らの心の赴くまま正直に生き、ヒューマニストとして死んだ彼の作品はショッキングであると同時に心温まるものが伝わってきます。

彼の作品は子供のような素直さと世情の残酷さの反映なのかもしれません。

実は、オタワのナショナル・ギャラリーには、日本大使館も大変お世話になっています。昨年は、日本がオタワのチュールリップ・フェスティバルのテーマ国であったこと、また、カナダ政府が定めた「アジア太平洋の年」でもあったことから大使館は様々な文化事業を実施しました。ナショナル・ギャラリーでは、天満敦子のヴァイオリン・コンサート、九十種近い日本酒を紹介した酒祭り、草月師範による生け花デモンストラーションを実施しています。

本年も日加外交関係樹立七十年という日加関係にとって重要な年となりますが、大使館の春の文化事業ではマルガリトフ辰巳由加子のメソ・ソプラノコンサート、書美術振興会の女流書家の展示会などを実施、メソ・ソプラノコンサートはナショナル・ギャラリーで実施しています。

この場をお借りしてナショナル・ギャラリー関係者に御礼を申し上げたいと思います。

(駐カナダ特命全権大使)



Pablo Picasso, Woman in a Hat with Flowers / Femme au chapeau et fleurs 1944



◇夏のバケーション・島のコテージで過ごす

どこか、避暑地に出かけて、湖で船に乗った時、偶然見かけた島のコテージ。どんな人がどのように住んでいるんだろうかと興味を持ったことはないですか。

この夏日本から家族が遊びにやってくるので、カナダらしい夏休みをと計画を練っている時、友人の知り合いが所有している、島のコテージを私達に貸してもよいという情報を得た。さっそく、ようやく暖かくなり始めた、五月最初の週末に下見に出かけることにした。

場所は、オンタリオ州ピーターボロ市南に東西に長く広がるライス湖にある。今回の下見は、日本の家族に状況を知らせて、プランを決めてもらうという目的があったので、ビデオ・カメラと使い捨てカメラを用意した。島までは、ゴルフデン・ビーチリゾートに停泊している友人のクルーザーで連れていってもらえることになった。当日は小雨がばらついて、少し肌寒い天候であったが、予定を執行する。高速クルーザーでヨット・ハーバーから約三十分で、目的地ヒッカリー島に到着。

島は、こんもりした丘のある周囲二十キロく

らいで、木に覆われており、印象は「ひよっこりひよたん島」である。小屋は、丘の頂上にあり、一階に暖炉のある広いリビングルームと台所とバスルームがあり、前後の見晴らしのよいデッキにも出られる。三寝室が二階にあり、八人は寝られるスペースがある。決して豪華ではないが、清潔で快適に過ごすには十分のよう思われた。電気は太陽電池、水はポンプで湖から汲み上げられ、トイレは生物浄化施設が取り付けられ、環境汚染しないように工夫されている。島の入り口には、船が停泊しやすいように入り江が作られており、すぐそばに人工の小さなビーチもある。建物は、コテージ以外には十メートルほ



ボートで島に到着

どの高さの監視小屋があるが、それ以外には何も無い。その他、キャンプ・ファイヤーの場所が設置されていたし、ヘリポートもある。この島からは、遠くに点在する島々が見えるが、岸側は全く見えない。見えるのはどこまでも続く湖のみ。騒々しい都会の日常生活から離れて、自分の好きな人達だけで過ごすバケーションには最適のように思われた。賃貸料は週決めで、コテージ二千ドルと船六百ドルにプラス税金。

後日、その日写した写真に、そこには居なかった白人の小太りの中年女性と分かる顔が、二階の窓ガラスに写っていた。まるで、白い霧で形作

**JTB**

ご旅行の御相談は  
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West  
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ



られたようであり、これは、たくさんの友人達の議論をかもし出した。偶然、顔のように見えるだけだと言う人が大半であったが、中には全く判別できない人もあった。しかし、これははっきり顔に見えると言う人も数人いた。さらに、他にも四人の顔があると新たな発見をした人達まで出てきた。はたして、これは心霊写真??? どなたか真相を確認したい勇氣ある方、当方まで一報下さい。(後藤順子)

◇クックスタウン・アウトレット・モール、トロントから一時間



用事があつてアリストンに行く途中、新しいアウトレット・モールを見つけた。ハイウェイ四〇〇を北上、八九号に降りた東南側のコーナーにある赤い屋根のモールである。時間があつたので、ものはいいでと寄ってみた。食器のロイヤルダルトン、ヴィルロイボック、靴屋のロックポート、ナインウエスト、婦人服のオルセン、ジョーンズ・ニューヨーク等、他にスポーツ用品やキッチン用品専門店など有名店が三十数店が入っていて、店舗も品数も揃っている。お値段は二十乃至七十%引き。聞けばこのモールは三年前に出来たそうだが「今まで知らなかったの?」という顔をされた。八九号を西に行けば、アリストンの手前にク

ックスタウンの古い村がある。クラフトやアンティークの小さい店が並んでいて、モールでショッピングの後、カントリースタイルのレストランやテイルームで一休みしたついでに、冷やかしてみるのが一興。(K)

◇AGOのコートールド・コレクション展、印象派・印象派後の絵画



マネの「草の上の昼食」の一部

英国の企業家サムエル・コートールドによって収集された印象派及び印象派後の絵画のコレクションを思いもよらずトロントで見ることが出来る。

印象主義の先駆者と言われるエドワール・マネ、豊かな色彩と親しみやすい女性像の画風で知られるオーギュスト・ルノワール、印象派という名称がこの画家の「印象・日の出」から生まれたことや睡蓮の連作で知られているクロード・モネ、踊り子の動きを瞬間的に捕らえたエドガー・ドガ、印象派や日本の浮世絵の影響を受けたピント・ファン・ゴッホ、タヒチの女や風景を色面にて構成したポール・ゴーギャン、厳しく秩序ある画面構成と色彩を調和させ、現代絵画に大きな影響を与えたポール・セザンヌなどの傑作八十点が展示され、美術ファンにとっては見逃すことが出来ない展覧会である。(山本博) (九月二十日まで、入場料二五ドル、問い合わせ 416-593-4225)

郵船の引越



ドア・ツー・ドアサービス

ゆうせん CAPTAIN MOVE-ALL

信頼にお応えします。

海外、国内引越・小口宅配

カナダ郵船航空サービス(株)

6520 Northam Drive, Mississauga, ON L4V 1H9  
Tel: (905) 673-7200 Fax: (905) 673-7120

※お気軽に山田まで日本語でご相談下さい。

Toronto · Vancouver · Montreal · Ottawa



「園丁さくん！上がってください！」

真昼陽が傾きかけた頃、水玉模様  
に置かれた飛び石を踏んで、お庭に  
降りて来られた「Lady of the House」か  
ら広い草原を横切つて声がかかると、  
ブルージーンズと洒落たシャツ姿の庭  
師さんは、一日の仕事を終えにかか  
ります。

トロントから小一時間ほど北上し  
たチャーチル Churchil の町へハイウェ  
ーから降りると、なだらかな起伏の  
農地が続きます。脇道へ折れ、ゆるい  
坂道を下り終えて、「ひよつとして道  
を間違えたかしら・・・」と不安になつ  
た頃、目印の郵便箱が現れ、畑の真  
ん中に一直線に通る私道を進み、目  
的地へどうやら辿り着いたようです。  
まだ半信半疑で進める車の窓越しに  
聞く「ここですよ」という農具を手  
にした庭師さんの声でホッとしたとた  
ん、大きな木桶にいっぱい風の風によ  
くオレンジ色のパンジーが目に入りま  
した。

にこやかに迎えてくださった「園丁  
さん」は一九八五年からオハイオか  
らカナダへホンダのアリントン工場建  
設のために来られ、立ち上がりから  
九一年まで、ホンダ・カナダ・マニユフ  
アクチャリングの責任者としてトップ  
に立っておられた早野宏氏。そして  
Lady of the House は、お花の子育てを  
楽しんでいらつしやる奥様の千恵子さ  
んです。

「もういいヨツ！と声がかかって、ピ  
ールが、ああおしいつ！これが楽し

みでネ」と、この日も「園丁さん」と声  
がかけられて、入つてこられた早野さ  
んの前には冷たく冷やされたビール  
二本が大きな水滴を付けて口を空け  
られるのを待っています。

フォーークアートの図格にあるよう  
に広がる草原を大きな一枚ガラスの窓  
から一望できる食堂で花々のことか  
ら夫婦のつき合い方まで、自然と土  
をクッションにして「ハッピー・リタイ  
ヤメント」の生活を豊かに送られる日  
々をうかがいました。

「どこで勉強したのか知らないけれ  
ど、あれこれよく知っていますねえ。  
私は彼女の言うとおりに動いているだ  
けですよ」と、笑顔の早野さんがビー  
ルで喉を潤し、一息ついた所へ、その  
日の朝に二人で採つて来られたわら  
びの鮮やかな緑をしたおひたしが運  
ばれます。

一足・・・オット一口先に私もいた  
だいたのですが、わらびつてこんなに  
美味しいものだったの・・・と茶色に  
ベタツとなつて水中に泳ぐ市販のわら  
びしか知らなかった私には新発見。  
「季節が少し過ぎたのですが美味し  
いのを食べて欲しかったので、私達だ  
けが知っている場所へ今朝行つて来た  
のよネ」とお二人の目が合います。こ  
んなお客様のおもてなしが出来るの  
も日本の比ではありませんが、街中  
の喧噪を離れ、自然と季節と共に生  
活する贅沢さのひとつではないでしょ  
うか。

東京に弟さんに貸している自宅が  
あるけれど、「日本にですか・・・。帰  
るのイヤになつちやうたんですヨ。親

# カナダで引退 農場で悠々 適



前庭の早野夫妻



Clematis



店先で枯れかかっていたのを助けられた鉢植え達



Geranium



lobelia

# 花作りよんごんの豊かな生活

戚も皆帰ってくるなど言うし。死ぬ時は日本……でも暫くはここにいますよ。」とおっしゃる早野氏のルーツは長野のお百姓さんとのこと。土いじりが大好きな「園丁さん」は奥様の花づくりの指示には素直に従われるようです。

「花にはオンチなんです。やっとこの頃、草取りが出来たら一人前です。」と自信を持って言われると、奥様から「見ていないとだめだったんです。花の芽を全部抜いて、雑草だけ残してたこともあるんです。花壇を作る時も手前から植えてくもんだから、最後には足場がなくなってしまう……。私が留守にした間にホンコンフラワーに水やったりして……と笑い話絶えませせん。

一年のうちひと月は日本に行かれる奥様は、春忙しくなる前か、庭仕事の手すかり終わる十月頃出かけるそうで、自然のカレンダーに人間の方が合わせるという花の子育て中心の生活です。

「留守にする時は主人が手入れをしてくれるので、手入れの同じものをまとめておくようにするのです。一生懸命やってくれるのですヨ！」とおっしゃる奥様の目が笑っています。

「一生懸命やるんだけど、どうも元気がない。このヤローって思ってた。次の日に（奥様が）帰ってきて、どうしてこんなになつたなんてブーブー言っていて、鉢を回したり置き替えたりしていると勝手に元気になる。イヤになっちゃういますヨ」と、奥様の手腕には一

目置いていらつしやるのがよく判りません。

「女房はいつも鉢を持って、この子はここが好きみたい、とか、ここは嫌いなネ、とか言ってるウロウロしていますヨ」

「好きな場所を見つけるのに時間がかかるのヨ」

子供を遊ばせたり、寝かせたりするようにして鉢植えの面倒をみられる様子は子育てと同じで、「話しかけてやらないとだめ」というのは本当のようです。

小さい時から植物が好きで、お父様に小石川の植物園へ連れて行ってもらい、花の名前をよく教えていただいたそうです。小学校二年の頃に疎開して福島叔母さんの所へ行った時も「あの、春の小川はさらさら行くよ……の歌の風景そのもので、レンゲ畑や小川がとても嬉しかったのを憶えています」と子供の頃から花好きでいらしたことが伝わってきます。

お父様に「昔の花札に出てくるような植物の名前は判るけれど、近ごろのややこしい花の名前（横文字のもの）は判らない。もう君には敵わないよ」と言わせる一方、高校・大学とも園芸を勉強された次女には「趣味の人には敵わない」と言わせしめる花道への情熱は、ご主人の土好きと相まって庭造りの夢が広がっていきます。

大規模の花壇ではありませんが、春一番に咲く花、色、背丈を計算し、次の花、次の色と植え替え、定例をこまめになさる様子や、五匹の猛

ハミングバードの好きな Fuchsia



飛び石の間に香り草のハーブが植えてある

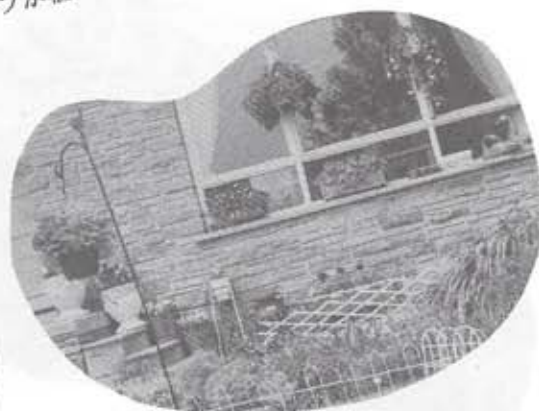


Fuchsia

Clematis



お嬢さんの作られた棚に咲いている。



Paphiopedilum

(パフィオフェイラム)

蘭

気持ちの悪い花が咲きます。



セントバーナード犬のタロー

ガレージにはハスキー、囲いをした裏庭にはよく吠える犬が3匹

男の人が好きな花なんですって…主人もよ。

犬やネコのサクラちゃん通り道にしてしまった小道を水玉のような飛び石にし、間に香り草を植え、踏むと香りのする道にするなど、まさにアイデアの勝負です。

「花屋さんやスーパーなどで枯れかけた小鉢が九十九セントなんて値が付けられて片隅にあると、助けてあげたくなっちゃって……」と助けられた鉢植えが並びます。

NHKの趣味の園芸の本がお手本とおっしゃいますが、本だけでは育てられないのは、子育てと同じ。愛情の一言、とは言っても、気丈に対することも必要で、アジサイなどは一目見てからドライフラワーにしたり、ポインセチアは季節を過ぎると見苦しいので、エイツと思いい切つて処分なさるそうです。

ナイアガラの植物園や、ハミルトンのロイヤル・ボタニカル・ガーデンなどで目についたお花が欲しいと、見つかるまで探すネバリ強さ、三年経たないと花が咲かない(五ドルが九十九セントになつていたので買われたもの)花を待つ気長さなど、花づくり、花育ては素敵な人間づくりなのですね。

「喧嘩などなさらないのでしょネ」とうかがったら、  
「いつもはそこが僕の席、こっちが女房」とテーブルの席を示されたのは園丁さん。ピクチャー・ウィンドウを向いてお二人横並びに座られるのは、いつもお二人で同じものを見ることにしていらつしやるから。

「二人で同じものを見てると話題が出来るでしょ。今日はハミングバードが来てるネ、とか。そうすると喧嘩にならないですよ。」  
「向き合っているとお互いが見える。そうするといろいろ気になること

わさびのようにちよつとピリッとした味の Nasturtium  
サラダに入れると美味しい?



が出てくる。アードコーだと言いたくなる……そうすると喧嘩になるんですよ。」  
「我が家はだから喧嘩がない。というのか喧嘩にならない。朝、今日の予定をお互いに言つて明らかにする。お早う、ありがとう、ごめんなさいの挨拶を自然のうちにする。」  
「ということが早野家の生活のけじめという事で、長続きをさせるのは家庭の中でもけじめが必要と再認識した一日でした。」  
雨の日は読みたい本がたまっているの、また楽しみです。ネコのサクラちゃん五匹の犬とで、定年生活を楽しんでいらつしやるお二人。これからどんな花を咲かせられるのでしょうか。



Delphinium

入口の花壇に咲いていました。

ブルーで背が高い花。



Bleeding Heart

けまん草というそうです。



松葉ボタン

ご主人の好きな花。

木の下が好き。



何でしょう?

Nasturtium  
(Tropaeolum)

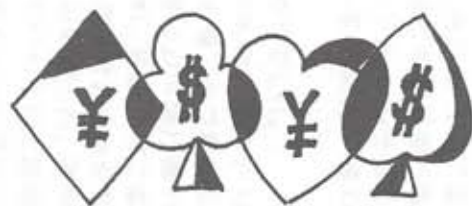
花も葉も食べられるそうです。

葉はわさびのような味がします。



弱みを強みに変える時

水谷雅和



二年ほど前だったであろうか、ある日系企業の役員の方とお話しする機会があった。その時間いたお話しは今でも印象に残っている。その中でも特に耳に残っているのは、その役員さんがおっしゃった言葉である。

「経営の難しさは今の強さがいつまでも続かない、つまり強みがいつの間にか弱みになってしまいうリスクに晒されていることである。逆に経営の面白さは弱みが強みに変えられることである。問題はそれらを見極めるタイミングである。だから一瞬たりとも気が抜けない。」

世界的に活躍する企業の第一線で指揮を執られていた方の言葉だけに説得力があった。

円の対米ドル相場が百四十円まで安くなっている。いろいろな要因が考えられるが、一言で言えば日米間の経済のファンダメンタルズの格差、現象的には日米の金利格差が背景にある。米国は低インフレ下での経済の持続的成長を謳歌しているが、一方日

本では株安に見られるような企業業績の悪化や金融機関の不良債権問題、消費者心理の停滞感等が経済に重くのしかかかっており、それを反映して長期金利までもが1%台と歴史的な低水準を記録している。

まさに、これまでの日本企業の強さの象徴とされてきた終身雇用、年功序列、合議に基づく意志決定等がこの変化の早いしかもグローバルスタンダードといわれる時価あるいは市場原理に基づく企業の意志決定方法からも遅れをとり、かつての強みが弱みに変わっている過程での現象と見ることも出来よう。

海外資本が続々と企業提携、買収という形で日本に上陸してきている。彼らは株安、通貨安のこの機会が日本で事業を拡大する絶好のタイミングと考えているのである。海外投資家が世界の市場との比較において、日本への投資が割安だと判断すれば、その投資戦略、ポートフォリオの環境として日本の不動産や株を組み

入れる、あるいは増やす動きに出ることは不思議なことではない。しばらくはこのような動きが活発に行われる可能性が高い。安値での日本買いである。

一方、米大リーグに目を転じれば、野茂投手をはじめ、四人の投手が活躍している。野茂投手はトレードされることになったが、日本の投手が実力世界の打撃でリードされること自体考えられなかった。それが実際に起こったのである。誇りに思うべきではあるが、日本選手の大リーグでの活躍が資本の分野で米資本の日本上陸とほぼ同じ時期に起こっているのは何やら因縁である。

日本にも海外資本が上陸することへの抵抗感はあるであろう。しかし、大リーグが外からの血を常に導入し、競争促進、活性化を図っているように、円安という一種の弱みをうまく使うことにより、透明性の高い市場原理が導入され、結果として日本経済が活性化されるのであれば、弱みが強みに変わることも十分考えられる。今こそその時なのであろう。

筆者が本誌に初めて投稿した四年前のちょうど六月は、米ドル円相場が初めて二桁になった時である。その後、翌春に米ドル円相場は一時八十円を割ったが、その後は長期的に円安地合となった。今回、一ドル百四十五円、百五十円の可能性がないとは言えないが、弱みが強みに変わる兆候が見られれば、意外に相場の転換期が早く訪れるかもしれない。

(カナダ東京三菱銀行V.P.)

JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール & クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto

(地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)

新司・割烹みかど

- お子様メニューもございます。
- お寿司その他アリのバリエーションが豊富です。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 桐田 佳一

114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO

PHONE: 421-6016 LICENCED

日曜定休



某月某日

## 「第二の

## 人生設計」

半田宏治

かれこれ三十年以上つきあいのあるアメリカ人の友人が昨年(多忙)を絵にかいたようなウォール街の投資銀行から身を引き、第二の人生に入った。たまたま私と同年令でもあり、「先を越された」友人の決断にいささかアセリを感じないではないけれど、私の場合「無職」になったら何をしたらよいか判らないという典型的な日本人の貧乏性があつて、このままでは「濡れ落葉」になりかねない。これだけはゴメンだ。

この引退は長期にわたって用意周到に計画を練り、その一つ一つを着実に実行してきた彼の行動力と人生設計に色合いと深みを加える奥さんの企画力なしには考えられない。今から十五年も前だったか、投資銀行家としては一番脂の乗った四十代の初めだったと思う。「今度ニューヨークの北に農場を買ったので一度見に来て欲しい。」という誘いがあつて、トロントから六時間のドライブを楽しみながら出掛けたのであ

る。この不動産取得が第二の人生のための第一歩であつた。

この農場はマンハッタンからクルマで二時間余り、州都アルバーニーの東にあつて、マサチューセツツ奇りの丘陵地帯にある。丘の南斜面百エーカー(約十萬坪)が持ち分で、その山頂から遠くを見ると地平線にキャッツキルの山並みが夕日に映え、その美しさは筆舌に尽くしがたい。私はこの眺望を利用して山荘を建てるのだからと勝手に決め込んでしまつた。

「荒廃」という言葉が当時の農場の状態を表現するのに最適だと思われた。前のオーナーはヒッピー上がりでロクに農業に励んだ訳でもなく、その経営に失敗して手放したのは明らかだった。草は茫茫に伸び放題、小ぶりの母屋や隣棟の納屋は一部土台が崩れて傾き、強風でも来れば簡単に吹き飛びかねないように見えた。内外壁の安物ペイントは剥げ落ち、何年も洗ったことのない絨毯はほころび、悪臭さえ放つて、靴を脱いで内部を歩き回るのはさすがに憚れる程荒れていた。納屋は古い農機具や各種廃棄物のゴミ捨て場と化し、蜘蛛の巣は勿論、干し草の間を走る野ネズミを発見したりすると、二度と足は向かなかつた。

このニューヨーク州北東部一帯はアデIRONダックとかキャッツキル等の元来はオランダ語の名前が多く残り、英国人よりも先に新大陸に到達したオランダ系の移民が開拓した地域である。従つて北アメリカ東

海岸では一番古い開拓の歴史を誇っている。この農場の建物もその流れを継いでいて、屋根の形、階段の手摺り、玄関の間口等々独特の味つけが垣間見える。それでも「私達の仕事はまず大掃除をして、その後十九世紀に建てられたオリジナルの姿に出来るだけ戻すこと」という二人の目の輝きが我々には中々理解出来なかつた。

投資銀行のダンナは相変わらず出張が多く、週末には村の人を何人か手伝いに狩り出して、時として奥さん一人でこの再生プロジェクトはスタートした。又村の図書館に通つたりして、開拓時代の知識も深めたと聞く。



それから二年程して「大分片付いたので遊びに来い。」という連絡があつた。正直云つて前回の記憶があつて気が重かつた。しかし久しぶりに見

た母屋と納屋は土台や窓、壁等大幅な修復を受け、見違えるような輝きを持つ建物になっていたのだ。あの汚かつたカーベットは剥がされ、元々あつた厚さ十センチもあるパインの床材は見事に磨かれ、実に踏み心地のよいフロアとなつて再生されていた。納屋は外側の壁はそのままに二階建てに内部は改造され、四つの寝室と農場で採れた石で積み上げたマントルピースがまるで昔からリビングルームの中央にでんと構えていたかに見えるゲストハウスに変身していた。しかも内外の塗装はわざわざアンティーク用の塗料を使用しているの、初めての訪問客はこの納屋否ゲストハウスが九十九パーセント「新築」とはとても想像出来ないだろう。家具・調度品に至つては奥さんが近所の古道具屋とかノミの市で収集したものばかりである。まさに十九世紀にこだわっているのだ。

この母屋と納屋の改造が一段落した頃、この友人一家は仕事で二回目の東京駐在を命ぜられた。私も一時帰国する度に会うようにしていたが、丁度日本のバブル経済のクラッシュ等で経営上の重圧は大変なものであつたろうと思う。それだけに二人の農場に対する愛着は増々強くなるように見えた。東京のホテルでテンブラと一緒に食べた時、友人は行つて来たばかりの信州の鄙びた温泉にすっかり心酔したと云うので、農場のゲストハウスに日本の風呂を作れないかと私が軽い気持ちで云つたら「それはグッドアイデアだ。」と久しぶりに笑顔を見せたのだった。しばらくしたら手紙が来て

「あの信州の温泉場に再び戻った。木風呂の浴槽サイズ、天井の高さ、脱衣場の間取り、すべて計った。ニューヨークにいる日本人の宮大工にこの工事が出るか問い合わせるつもり。いいアイデアを感謝する。」とあった。

昨年友人は正式に仕事から引退した。昔一時期教壇に立っていたことから、ニューヨークの女子大の理事を引き受けたり、二、三のボランティアの仕事があつて完全には都会から足を洗っていない。月の三分の一はニューヨークのアパートで起居している。そして農場に戻れば晴耕雨読ではないけれどやるべき仕事は限りなくある。こうしたライフスタイルはマンハッタンの好景気で今風に云うとトレンドになりつつあるようだ。



結果としてこの一帯の不動産価格は上昇し続けている。代々この地に住み続ける村の住民と主として週

末だけを過ごすマンハッタンの人間とは暮らしぶりが異なり、とかく摩擦を起こしかねない。そこで相互の意志疎通をはかる協議会が出来て、各種の「村おこし」活動が展開されている。二人が加わっていることは云うまでもない。

昨年秋、友人が引退した直後にこの地を再び訪れた。ニューヨークランドの丘陵に続くこの一帯の紅葉はおそらく質量共に北米一ではないかと思う程見事である。何よりも清らかな空気に恵まれてのことであろう。日中は近くの民俗博物館や村の古道具屋等にも案内して貰い、一日の終わりに心地よい疲れを感じていた。友人が待つていたとばかりに「風呂が用意出来てるヨ。寝る前にこの温泉を試してくれ。」と云う。私は一目散にゲストハウスに新しくつけ加えられた風呂場に向かった。そこには懐かしささえ感じる木製の浴槽に湯が満々とたたえられ、湯気がたち込めた天井を見上げると一瞬自分が何処にいるのか忘れてしまう気分になった。湯の深さは一メートルはあるだろう。素晴らしい湯加減に思わず首まで浸かり、手足を伸ばしてみる。風呂を浴びるとは本来こういうことなのだ。

風呂場の窓越しに目を向けると、山の中腹に流れ雲が月明かりに照らされて走っているように見える。そして今日は、中秋の名月であることを知る。紅葉、湯、満月……友人の第二の人生が本格的にスタートしたことを知った。

# FUJIFILM

## DL-312 ZOOM



- 38mm-120mm Super EBC Fujinon zoom lens
- Continuous shooting, interval timer and sequential self-timer
- Flash obstruction warning system
- "Drop-In" loading and prewinding



## DL-SUPER Mini



- Ultra compact and lightweight
- Aluminum body
- 28mm, f/3.5 Super EBC Fujin on lens
- Auto/Manual switchable focusing system
- Night portrait mode and backlight control
- Flash obstruction warning



FUJI. A new way of seeing things.

## 「悪平等」と「アンフェア」と

青柳俊明

トロントには、私などよりはるかに長い海外生活を経験され、英語にも堪能な先輩方も多いと思うので、読者の皆さんにご教示いただきたいのだが、「悪平等」という日本語にびったりする英語はあるのだろうか？

平等でないことを表す言葉としては、当然「不平等」があつて、「平等」をそのまま否定して反対語ができるのは、日本語も英語も同じ。だが、「悪平等」は「平等」の正面切った反対語ではない不思議な言葉だ。

東京から移つてきて間もない頃、「悪平等」という言葉を翻訳説明しようとして、苦しまぎれに「パッド・イークアリティ」と言つてしまひカナダ人の友人を嘩然とさせたことがある。この友人は、目の前の日本人なる異人種が、「平等」という彼にとつては絶対正しく美しい概念に「悪」などという形容詞をつけてしまえることに仰天し、一種の義憤さえ覚えたようだった。

「自由」「平等」「博愛」は、フランスの三色旗が象徴しているように、西洋近代市民社会の基本概念と言われている。これらは西の世界の人間達には精神的な根本として絶対に動かせないもので、文化も社会制度も全てその上に構築されているのだから、「パッド」などと言つてしまうのは失礼極まりないこと

だったのだ。

だが北米は「ランド・オブ・オポチュニティ」、知恵と才能を努力で伸ばしながら個人がどこまでも成長しようとする社会だ。これはフロンティア精神の幸せな名残り、今さら信じている者も少ないが、それでも自由競争は今も健全に生き残っている。

みんなが一緒に扱われることを飯にここで「平等」のひとつの目安としてみよう。そこでまず思い起こされるのがオペラのスター達の孤独で悲痛な栄光の姿だ。

オペラ団で働いていた頃、同じ舞台と一緒に働いていながら出演料や給金の格差が大きいことを嘆く声を聞いたものだ。しかし、ひとりぐらいいなくなつても全体に影響のない「その他大勢」や、代演者ですぐ見つけられるような役回りはやはり重要度が低い。この世界にその人ひとりしか歌えない役ができたり、並外れた人気があつて大量の観客動員を可能にする歌手は、やはり大変な宝物だ。風邪でもひこうものなら、歌劇団全体がかたずを呑んで見守ることになる。そんなスターダムにのし上がるために彼らが積み上げてきた努力は、並大抵のものではない。そしてその労働としての量も質も、超人的な要求を日々こなさなければならぬはずのものだ。日本の一部の伝統芸能の舞台裏のような、旧弊な徒弟制度的身分格差には閉口させられるが、やはり人間がみんな同じに扱われるのには逆に無理がある。スター達の栄光の陰の悲惨なまでの努力は、せめて出演料ぐ

らいでは報われて欲しい。

均一に人間を扱えないこと甚だしい劇場の世界で、それを逆手にとつている例もある。

トロントのタラゴン・シアターに出演していた友人を終演後楽屋に訪ねた折、こんな話を聞いた。タラゴンはカナダ現代演劇を支える小劇場運動の老舗で、新作の初演を精力的に展開しているのだが、出演料の支払いシステムが独特だ。

「幕切れ直前にちらりと出てきただけのオバ様だろうか。彼女もおれも、ギャラ同じなんだぜ。おれの出場は、出づっぱりの主役二人に比べればはるかに楽なのだから、まあいいけどさ。」と友人はニヤニヤしていた。平等には行かない所を敢えて貰いて、スターの専横を許さないアンサンブルを育てようという哲学が私には感じられる。ある意味で現実離れして理想主義的だけれど、共感できる方針だから賛同せざるをえない。それが友人のニヤニヤの真意だつたと思う。

努力をした分だけ、成果を挙げただけ、金銭的にも意識的にも認知されてしかるべきだ。それが正義だと北米の人達は信じている。だから、個人差を見越してみんなが一緒に扱われれば、それは公正を欠く行為であり、「平等」の反対語を跳び越えてそれはすぐに「アンフェア」「不正」ということになってしまう。移民して間もないころの私の耳には、周囲の人の物言いが、自分を買いかぶっていたり、異様な自信に溢れて聞こえていたのを思い出す。だが次第に、その人達が

上司の「公正」な判断をどれほど強く期待しているのかも伝わってきた。尊大なものとは裏腹に、上からの愛情へのいじらしいほどの渴望が見えてきた。

「敬意を示してくれればいいんだ。」と彼らが口をそろえて言うのも、印象的だった。「サンキュー」と上手に言えない上司は最低だ。そして使われる側には、低く判定されることも含めて、評価される覚悟ができていようと思われる。

人為的に無理に捏造した「平等」が好ましくならざるものであるという概念は日本にもある。だがそこに、いかにも日本的なものが含まれているような気がする。「平等」は基本的に良いものだが、誤用されれば悪くなると、日本人も考える。ところが個人主義と自由競争の社会では、個人差が公正に反映されてこそ人間は働くのだから、それが裏切られたり無視されたりすれば人々は怒りをむき出しにする。まっしぐらに「不正」に陥るようになるのだ。

カナダの生活が長くなるにつれて自分の感じ方も後者に引きずられてがちになってきたと思う。しかし「悪平等」的な状況が生じてしまった時に、私は今でも周囲のリアクションに、大げさで誇張されているのではないかと戸惑うことがある。それでも日本からの来訪者に「横ならび」の深遠な重要性を諄々と説かれると、腹が立ったり呆れたり、自分の中の複雑な反応に対処しきれなくなってしまう。

(国際交流基金  
トロント日本文化センター)



シカゴに住む人が一次帰国をして連絡をくれたので、逢って食事をすることになった。いろいろと話をしていた。

「今、一番気がかりなのは息子の事なのよ。でもお子さんのいない尼子さんには聞いたってだめでしょうし」

と悩みを訴え始めた。トロントにいた時、一緒のコンドミニアムで生活をしていた人である。その頃彼女の坊やはグレードワンになったばかり、流暢な日本語で私達と喋っていた。その子がもう五年生だという。今や英語には不自由なく、親の通訳をしてくれる程になっている。でも日に日に日本語が変になって来て、もし今、帰国命令が出たら、英語も日本語も中途半端で、しかも外国の学校は詰め込み主義ではないので学力にもきつと問題があると思うと言うのである。

「でもマア、日本に帰ったら塾があるから…」  
と彼女は言う。

さてここからが東京の小学生の塾事情である。いえいえ「塾があるから」なんて甘いものではない。ご存知の通り公立中学はイジメがあるから、という理由で親は何として私立中学に我が子を入れたい。それで、いたいたいな小学生が受験のため塾に通う。

その学習塾に入るのは大体小学校五年生から、早い者は四年生で入る。有名塾は勿論の事、中規模の街の学習塾でも入る時にテストがある。ある程度の頭脳の持ち主以外は捨てられるか、或いは大枚をかけて家庭教師を雇う事にな

る。五年生でテストを受けるより四年生で受けた方がやさしいというので、中学まで三年間もあるのに入塾する現状なのだ。

さて四年生で塾に入ると最初に驚くのは、勉強内容が五年生の教科書を使っている事である。四年生の予習は全部宿題として家に持ち帰ってやらされる。

一人の女の子を例にとると、その子はピアノを習っているので、月

東・京・裏・通・信



学習塾事情

尼子三矢子

曜日「ピアノ」、火曜日「算数」、水曜日「理科・社会」、木曜日「国語」というアフタースクールの予定表だ。四年生は五時限授業を受けて学校から帰ると午後三時半。親は軽食を用意して待つ。それを食べて学校の宿題をする。小学校も塾事情を加味して宿題は軽いもの、例えば国語なら音読（親が確認の印鑑を押してやる）、算数なら計算（大抵の子は計算機を使ってやってしまう）のようなものが出る。すぐ

五時からの塾が始まるのでアタフタと家を出て行く。七時まで学習塾、帰って夕食、その後塾の宿題をやる、という毎日なのだ。それだけならまだしも、月曜日は全塾テストが一ヶ月に一回ある。それで子供のランクを決め、その都度上位のクラス、下位のクラスと組替えがあつて微妙に子供の競争意識を刺激する。日本の子は何て可哀想なのだろうと思つて、取材した女の子にいろいろ尋ねてみた。不自由な事は四年生からカリキュラムに入ってくる「クラブ活動」なのだと言う。

その子は陸上競技部に入ったのでクラブをやつて帰つて来ると、お母さんの作ったサンドイッチを食べる暇がないので、途中の道を食べ食べ走るのだそうだ。そして帰つて来て学校の宿題と塾の宿題をやるので、クラブのある日はお風呂に入れないんだよ、と言つていた。

でも救われたのは「塾つてね、学校よりずっと先生が判り易く教えてくれるし、一クラス八人だから仲良しでとても楽しいよ。」  
と答えてくれた事だった。

シカゴの友人には、このルポをする前だったので何も答えてあげることが出来なかつたが、私が思うに、日本でもアメリカでも、どちらかの教育をしっかりと受け、どちらかの言葉をしつかり身に付けければ、中途半端よりは人間として幸せなのではないかと思う。

それに日本では帰国子女を受け入れる私立中学が数校あるとの事、小学生をお持ちの海外のご両親、どうか頑張つて下さいね。

格安でよい品物をお探しなら当店で!!



# 小沢カナダ

- ・和食器 ・ Wedgwood ・ Bohemia Crystal ・ Karaoke
- ・カナダのギフト各種 ・ Cross Pen ・ Elysee Pen ・ Golf
- ・ Rice Cooker & Pot ・ Henckel ・ 日本食料品 ・ 電気製品

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3

RICHMOND HILL, ONTARIO L4B 1E2

Tel: (416) 229-6343 (905) 731-5088 Fax (905) 731-0778

## 裏千家トント教室 新宗楓 教室

8 Dallington Drive  
Willowdale, Ontario  
M2A 2G3

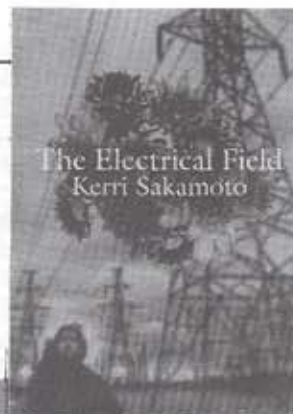
(416) 493-6776

新しい世代!

日系3世女性作家

# 「エレクトリカル・フィールド」

でデビューした ケリー・サカモト



つい最近、一人の若い日系カナダ人三世の女性が作家としてデビューした。ノッブス社から発売された「エレクトリカル・フィールド」のケリー・サカモトである。カナダの日系作家では「オバサン」の二世のジョイ・コガワが先輩格としているが、一九五九年生まれのケリー・サカモトは若い世代を代表している。

実は、ケリー・サカモトはわが家の一軒おいて隣の住人なのである。十年前にこのビルに越してきた時、同じビルの同じ階にケリーが彼女の両親が持っているアパートに住んでいると、近所に住んでいた社会学者のドクタールMが教えてくれた。その時「アクティヴィストのケリー・サカモト」という

表現だったので、何となく敬遠して、たまに廊下やエレベーターで会うことがあっても、ハローというくらいであつた。その後すぐケリーの姿を見かけなくなつた。

当時ケリーとわが家の間にフランス人とアメリカ人の三十代のカップルが二年ほど住んでいて、時々しゃべつたが、彼らがケリーとも親しかつたので、彼らを通じてケリーの消息をいろいろ聞いていたのである。新聞に大きく載つたケリーの作家としてのデビュー記事を讀んで、ああやっぱりやつたな、という感じであつた。

「エレクトリカル・フィールド」は正確には「静電界」(電圧によつて出来る電界)の意味だが、一般には高圧送電線(五〇万ボルト)が通つてゐる下の空き地のことである。そこは危険だから誰も住まない。野つ原のまま放置されてゐる。高圧送電線の空き地を挟んだ郊外の住宅地に日系人の三家族が住んでいた。この本のナレーターはサイトウ・アサコは中年の日系二世の独身女性で、寝たきり、垂れ流し老人の父親と弟との三人暮らし。父親の世話のアサコの仕事である。アサコは父親の世話をしないときは高圧送電線の空き地の向かい側の住人を観察して暮らしている。

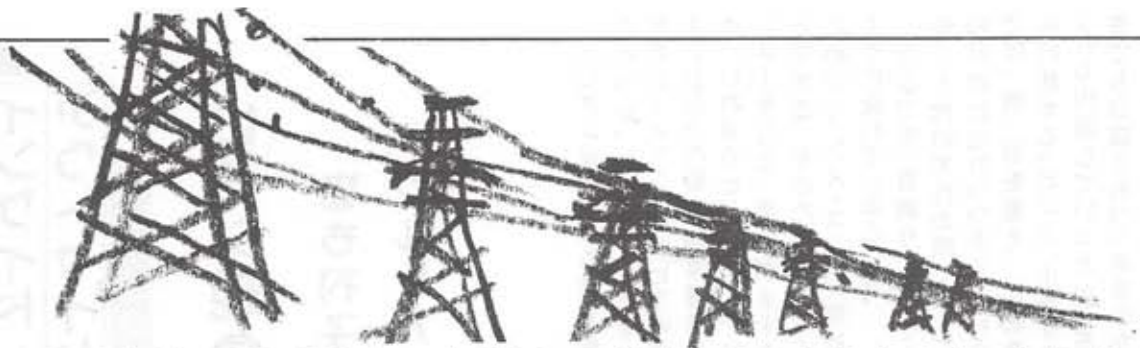
向かい側の一軒にヤノが引越してきた。彼は帰加二世で、日系人強制収容賠償の運動家である。ヤノが日本から連れてきた妻のチサコは美人だがカナダの生活になじまない。チサコと白人男性の情事と殺人から話が始まるので、ミステリーの犯人探し小説と早合点しがちだが、そうでは

ない。その殺人事件によつてアサコが強制収容所にいた幼い少女時代に肺炎で死んだ兄の原因を招いたことに対する責任がよみがえり、その兄に対する異常なまでのアサコの愛と独占欲、ヤノとチサコへの関心を追求したオプセッションに満ちた心理小説である。アサコを追い回し、執拗に過去をほじくるのは、もう一軒の日系人家族・ナカムラ家の子供、サチである。サチはまるでアサコの分身のようだ。「エレクトリカル・フィールド」はゆるべストセラ・タイプの小説ではない。しかし、文章のテクスチャが濃密で、フラッシュバックを交錯させたかなり複雑な構成を最後まで破綻なくとりまとめている。批評で「リッチ」といわれているように密度の高い作品である。

ケリー・サカモトは二世の両親の下、エトピコックで育つた。父親は食品会社の機械エンジニア、母親は自治体で働いていた。トロント大学で英仏文学を専攻、卒業後日系人強制収容保障運動団体の仕事をしたり、広告エージェンツで働いた。姉は広告会社のエクゼクティブ。八九年にニューヨーク大学に入り英語とクリエティブ・ライティングでマスターを取得。その後もニューヨークのアートギャラリーや出版社で働き、二年前にカナダに戻つた。

小説を書き出したのはいつ頃から?

「トロント大学時代から書くことは好きだったから、短編などを時々書いていました。本格的に書き出したのは二、三年前で働いていた頃です。」



「エレクトリカル・フィールドって高圧送電線が通っている下の野原のことでしょうか？ どうしてそんな題を付けたのですか？」

「子供の時からずっと住んでいた郊外のエトビゴークにエレクトリカル・フィールドがあったから。高圧送電線の下は草があるし、自然が残っている。」  
「でも、誰もそんなところへ行ったり住んだりしないでしょ？ 危険だから。」

「だから、隔絶した特別の場所って意味もあります。小説の中の日系人の三家庭と全ての登場人物がみんな孤独で、自己に閉じこもっている。皆偽りの性格ではないけれど、過去への怒りを秘めている。」

「アサコのキャラクターというのはどこから出て来たのですか？」

「強い自己があるにもかかわらず、社会に出ていくのが怖くて、家の中に閉じこもっている。兄の死に対するギルティの部分は母親の経験からとりました。母親の弟が収容所で肺炎にかかったが、医療設備が不十分で死んだのです。母にとって、それは大変ショックな出来事でした。」

「第二次大戦中の強制収容という事件が全ての日系カナダ人の原点にあるということが、カナダに来て初めてわかったけれど、三世のあなたの世代でもまだそうなのですか？」

「私の祖父母と両親は収容所の経験があります。親の世代は収容所のことをあまり語りませんでした。恥ずかしくて、辛いことだったからです。七〇年代後半、八〇年代になって、強制収容賠償の運動が始まるまで彼らは経験を語りませんでした。私達

三世は成長してから、親たちの経験を発見して感動しました。」

「恥と怒り、という言葉で沈黙していた二世の気持ちをケリーは表現したが、アサコが兄を殺したという強迫観念にとらわれ続けた人生を振り返って言う「戦争のせいでも、政府のせいでも、マッケンジー何某（日系人を強制収容した当時のカナダ首相、マッケンジー・キング）という白人のせいでもない……私の落ち度なのだ」という言葉は意味があると思った。」

「日系カナダ人のアイデンティティって何でしょう？」

「日系カナダ人のカルチュアだと思いません。カナダ人でもない、日本人でもないカルチュア、ハイブリットがアイデンティティだと思います。我々はカナダで育ったジャパニーズ・カナディアンです。日本のカルチュアの影響とカナダで育ったということが融合して新しいものが生まれてくる。」

「カズオ・イシグロの場合もそうですね。彼は小さい時英国へ渡った人で、日本のメモリーはないと思いますが、それでも日本と英国の二つの影響を受けています。彼にはとてもキンシップを感じますね。」

「カズオ・イシグロの『日の名残り』は映画にもなりましたが、題材は日本とは全然関係がないですね。」

「前作の長崎を舞台にした『アン・ア・テイスト・オブ・ザ・フロートイング・ワールド』と英国の貴族社会の『日の名残り』は違う文化を描いていても類似点があり、同じ性格のものだと思えます。 Some bad things happens in the strange society……」

「他に好きな作家は？」

「大江健三郎、トニー・モリソン、それから川端康成……。大江の『個人的な経験』は不幸な子供をもつ親の不安を率直にさらけ出したオネストな作品だと思います。」

「五月に初めて日本を訪れたそうですが、その感想は？」

「たった十日間で、それもほとんど東京にいましたが、日本語をしゃべらない日系人ということでもストレンジな経験でした。日本に行っても三世の私はホームランドに帰ったという気持ちにはならず、習慣と言葉の違いでストレンジなような気持ちでした。私はアジア人が少ない環境で育ったので、初めて大勢の日本人に会って戸惑ったようです。祖父母をずっと見ていたので日本に対して親近感を持っていますが、今度日本に行くと、やっぱり自分は外見日本人に見えるウエスターン・パーソンだということに自覚しました。日本の人とのコミュニケーションがむずかしくフラストレーションを感じました。」

現在第二作目を考えているところ。カナダと日本を舞台にした双子の話にしたい、という。今後の作品では、日系人や日本人にあまりとらわれて欲しくない、とも思うが、要は作品として優れてさえいればよいわけで、題材は別に問わない。日本語訳の出版は目下交渉中。今、本屋の小説の棚にはケリー・サカモトがサリンジャーの『ライ麦畑でつかまえて』の隣に並んでいる。サリンジャーの隣にこれからもずっと本が並ぶような作家になつて欲しいと思った。(K・H)

## 「ビダン現象」

### 猫も杓子も ビジュアル時代 ツルツル・スベスベ・サラサラ

高中公男



「ビダン現象」なる言葉をこ存じだろ。例えば、長野オリンピックでジャンプ・ラージヒルの金メダリストとなった船木和喜選手の細い眉や、いわゆるビジュアル系 SHANANA のメイクなど、男性がメイクすることである。そのため、美しく見せるための「メンズ・コスメ」用品が飛ぶように売れているという。

なかでも「眉剃り」は、中・高校生や二十代の男性の間では、ごく普通の日課になりつつあるという。最近では、朝、眉を整え、化粧をしてから出社する「ビジュアル系サラリーマン」も出現しているとか。茶髪が企業でも公認されつつあるなか、「ビジュアル系おやじ」が出現する日もそう遠くないのかも知れない。ともあれ、女性が美しくなりたいと努力するように、男性も「美しい自分」を追求する。これが「ビダン現象」であ

る。

興味をそえられるか否か、メンズ・コスメの基本を紹介すると、眉は、アイブロー、毛抜き、カットバサミ等で整形し、最後は櫛で形を整える。まつ毛はマスカラを塗り、ビューラーでクルンと上向きにする。頬は、表情筋のエクササイズ・ギアを口の中に入れ鍛える。鼻は、小鼻の黒いぼつぼつを毛穴パックで取る。肌は、洗顔フォームで脂っぽさを解消する。歯は、歯のバツクで歯垢、口臭を除去する。唇は、リップクリームでつやを出す。また、手については、爪を爪ヤスリで磨いて、透明マニキュアを塗り、腕も脱毛クリームでムダ毛を除去する念の入れようである。

こうした「ビダン現象」は、男性化粧品の歴史からも、流行と揺り戻し

をうかがうことができる。戦後で最も画期的だったのは、六二年に液体整髪料「バイタリス」(ライオン)が米国から入って来たことであろう。従前の男性化粧用品というと、ポマードやチックなどの固形整髪料が中心だったが、液体が中心になってから「べとつかない」髪が常識となった。六七年に資生堂が「MG5」を発売し、整髪料からスキンケア、コロンまで揃えたフルライン男性化粧用品が登場するようになった。そして、古くから男性化粧用品を手がけてきた丹頂(現、マンダム)が七十年にチャールズ・ブロンソンを起用して「男の世界」をキーワードにしたフルラインを発売し、資生堂の「都会的」なイメージに対抗して、男性化粧用品も差別化され、個性を強調するようになっていった。差別化、個性の強調という中で、資生堂は「高級化粧線」を打ち出し、「ブラバス」シリーズを六

九年から七十年代に入ってから「ヴィンテージ」、「ロードス」、「タクティノス」といったラインナップを追求していった。これに対して、マンダムは定番「マンダム」に加え、「フーズ」、「ギャツピー」を、また、カネボウも「バルカン」を投入して、男性化粧用品も女性化粧用品並みに「高級さ」が重要性を増していった。

しかし、八十年代に入ると、「微香性」というコンセプトが登場し、このフラッグアイテムとして、資生堂が「アウスレーゼ」シリーズを投入し、世の男性は「香りの少ないのも香りの一つ」として支持されるようになった。丁度、「しょうゆ顔」なるサツパリ系の顔立ちが人気を得てい

た時期にまさにはまったのかもしれない。また、そうした流れは、八九年にマンダムが発売した無香性化粧用品「ルシード」で、「整髪料一つにでも香りがあれば、その香りに全体のバランスが縛られる」との潜在的なニーズにまで掘り起こし、化粧用品にとつてはほとんど常識だった香りが遂になくなった。

また一方で、バブル全盛時代には、個性的なことを強調する動きもみられ、整髪料に強いセット力が求められ、メンズ・ムースが登場した。しかも、ムースのセット力も、ハードからスーパーハードへ、そして、ジェルへと進化した。これは側面を刈り上げ、髪をツンツン立てるヘアスタイルの流行にも乗ったものであった。

バブル崩壊後は、ブランドの多様化が進み、整髪料も液体整髪料が復活し、過激なセットを維持するというよりも、微妙なセット力と自然な仕上がりが求められ、また、油分は極力抑えられるようになった。そして、現在のツルツル、スベスベの肌、サラサラの髪へとつながっている。その意味では、限りなく「女性化」を追求しているようにも見える。女性が「男性化」し、男性が「女性化」したといわれる世相にマッチしないでもない。しかし、時代の流行が、「都会的」↓野性的・個性的↓都会的「へと回帰していることを考えると、また、男臭い香りが復活する日も、意外に遠くないのかもしれない。(拓殖大学アジア情報センター所長)

長い間、放置していた問題の一つだった自動車運転免許を突然、取る決意をした。

十二年前、私がカナダに移住した頃には、まだ現在の様に日本の国際免許証を書き換える制度はなく、オンタリオ州の免許を取得する為には、筆記試験と実技試験が必要であった。日常生活では主人が、運転してどこへでも連れて行ってくれるので、不便はなく、免許を取ると言う事への必要性に踏ん切りがつかないまま時間が過ぎてしまった。しかし、主人の出張や、病

紛失してしまい、免許所有の証明が難しくなっていた。いろんな状況が、もう一度、車を運転するということをし難くするばかりであった。

一度決意すると、行動は至って早い。最寄りの自動車学校に「どうしたら、運転免許が取れるのか」を電話で問い合わせると親切に教えてくれた。

## オンタリオ州で



## 自動車運転免許を取る

### ◆筆記試験でG1級取得

気・怪我などの緊急の時などを考えると、いつも不安があった。そうこうしている内に、オンタリオ州では一九九四年より Graduate System と呼ばれる制度が採用され、普通免許を取るまで二年間かかるようになってしまった。一方、日本で、苦勞して取得した免許も、二年ごとの書き換えが出来ず放置されたままになり、さらに関西大震災の時、実家に保管していた免許書も

まず最初のステップは筆記試験に合格して、G1を取る。最寄りの試験場がカナディアン・タイム The Official Driver's Handbook (\$7.95) という本を購入し必死に独学する。視力検査の次に、いよいよ筆記試験を受けるのだが、内容は、予想に反して、超簡単！。道路標識の問題がほとんどで約二十分で終わった。結果はすぐに発表され二週間後には立派な写真入り

クレジット・カード風の免許証が郵送されてきた。我ながら非常に感激した。料金は百ドルであった。これには次のステップであるG2級への試験代も含まれている。

しかしG1は助手席に普通免許G級を四年以上保有している人に同乗してもらわなければ運転できない仮免許である。それに加え高速道路や午前零時から五時までの運転は出来ないという制限がある。そんな訳で選択の余地のない私はとりあえず夫に横に乗ってもらい、夫の大声で叫ぶ奇声に耐えながら街を走りだったのである。どうやら配偶者に同乗してもらうのは、あまり好ましくないようだ。

## 後藤 順子



### ◆天の助け、自動車学校

本来なら一年間、この試験と屈辱に耐えなければならぬのだが、自動車学校を卒業すれば、八ヶ月に短縮できる利点がある上、自分ひとりで運転可能なG2級への実技試験の合格率が九十割を越えるというので、複数の友人が勧めてく

れた、Young Driver's Canadaへの入学を決意した。

私の取った二週末、集中土・日コースでの授業内容は、極めて実践的で、事故に巻き込まれない運転技術をきめ細かく、ビデオを使用して、楽しく教えたので、長い授業も、あまり退屈しない。その後の実技訓練は、授業で習った事を、体で覚える事に重点が置かれている。他校と比較して割高だった料金(六百ドル)には、これらの授業(二十八時間)と十五時間の路上実技訓練が含まれている。私はG2級を目指して、この夏から秋にかけてブランプトン市街地を自動車学校の車で走っていることだろう。

尚、実技試験に合格してG2取得後、一年〜五年以内に最終目的であるG級への昇級実技試験がある。これは高速道路運転も含む合格率が四十割という難関のようだ。学校の宣伝文句によるとこの実技試験でさえ卒業生は、一回目で八十割合格しているという。

新しい免許制度で免許を取得した、十代から二十代前半の若者の死亡事故がオンタリオ州では、大きく減少しているとのことで、カナダ他州やアメリカからも注目を浴びているという。近くBC州もオンタリオ州の制度に似たものに変わると、最近のトロント・スター紙に記事が出ていた。私は、だいぶ回り道をしているが、一番大切な安全運転をするという意味でこれも無駄ではないと納得した。

トレイ状の船でクランベリーのみを集める

昨年の秋、九月から十月にかけて三回もムスコカを訪れました。トロントから二時間あまりで、都会の喧嘩からすっかり逃れられるトロントの奥座敷に私はあらためて魅せられたようです。九月の末、青空に映える美しい紅葉を求め一度、十月初旬、仕事関係の方々と紅葉を楽しみながらの贅沢なゴルフで二度目。そしてクランベリー・フェスティバルを目的に訪れたのが三度目でした。



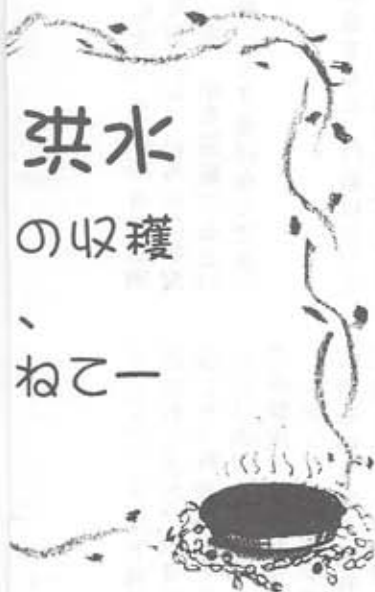
BALA  
CRANBERRY  
FESTIVAL



### ○クランベリー・フェスティバル

トロントからハイウェイ400を北上し、バリーでハイウェイ11に、さらにグレイヴエンハーストでハイウェイ169に進み、しばらく車を走らせると、ムーンリバーとムスコカ湖の接する辺りにバラ(BALA)という小さな町があります。そこがオンタリオ州におけるクランベリー栽培のメッカで、毎年、サンクスギビングの次の週末にクランベリーの収穫を祝って、金曜日の夜から、土、日曜と町のいたるところで、色々な催しが開かれます。クランベリーに因んだ食べ物の数々、クラフトショー、アートショー、カントリーバザー、ジャズやロックコンサートも開かれて大変賑やかです。

洪水  
の収穫  
、ねてー



一面のクランベリー畑



○ピンクの花の灌木  
私はフェスティバルそのものではなく、何かの雑誌に載っている写真で、ずっと気になっていた、水面が真っ赤に赤い実で覆われ、船で収穫している光景を実際にこの目で見てみたいと思ったのです。オンタリオ州ではクランベリーの農場はこのバラ周辺のジョンストンズとイロコワスという二つの農場しかありません。クランベリーはそもそも沼地、酸性土を好む、丈が二十乃至三十センチの灌木で、大量の水も引いてこなければなりませんので、栽培にはこの辺りが大変適しているようです。六月から七月にかけて咲く薄いピンク色の花が野生の鶴の頭の形に似ているところから Crane Berry と呼ばれ、それが縮まって Cranberry になったとことです。





### ○赤い実を水に一面に 浮かして穫る

面白いことに二つの農場が収穫にそれぞれ違う方法を採用しています。克蘭ベリーの畑一面に水を入るところまではどちらの農場も一緒ですが、最初に訪れたジョンストンズでは目の細かい鋤状の機械で克蘭ベリーの木をこすげて、実だけを水面に浮かせて直ちに集め、トレイ状の船に積んでいく一体型機械の方式です。この収穫方式もそれなりに面

白いものですが、私が長い間見てみたいと思っていたものとは異なりまず。次の日にバラの町から西に少し離れたモホークの居住地内にあるイロコワズを訪れたところ、ここではまさしく私が長らく思い描いていた見晴らすほどの大きな池（畑が池に見えるます。）の水面が克蘭ベリーの真っ赤な実で一面光り輝く光景が目当たりに見られて、大変感動しました。収穫作業をしている人達は釣り人が着るような防水の胸までのズボンを着て、克蘭ベリーの実の赤い洪水に腰まで浸りながら作業をしています。ピーティング方式といって、畑に水を入れてから大きな機械を走らせて克蘭ベリーの木を叩いて実だけを水面に浮かばせます。それを集めてベルトコンベヤー様の機械でトラックの上の大きな入れ物に積んで行きます。ジョンストンズと較べ見物客も疎らで、ゆつくりと見ることができました。

水に浮かんだ克蘭ベリーをベルトコンベアでトラックに積み込む



## 赤い実の 克蘭ベリー —ムスコカ湖畔 バラを訪

津島 晃

### ○収穫は十月はじめ

ジョンストンズの農場内には売店があつて、克蘭ベリーを使った食品や、土産物を買っており、また、フェスティバルの時には様々な催しをして、訪れる人々を楽しませてくれます。フェスティバルの時は、町全体の交通量も多く、ジョンストンズも人氣があつて大変混みます。十月に入りますと、収穫を始めますので、収穫を見物するのが目的でしたら、フェスティバルを外して十月初旬に訪れば、一緒に豪華な紅葉も楽しむことができると思います。  
(JTBインターナショナル・トロント支店長)



# 回復をめわつん

## ボランティアで 乳ガン患者を訪問

真矢とき



カナダガン協会では、Reach to Recovery (回復をめざして) というプログラムを実行している。これは、協会側のトレーニングを受けた乳ガン体験者がボランティアで乳ガン患者を見舞うというもの。

私も、昨年からのプログラムに参加し、トロントのダウンタウン地区を中心に時間の許す限り活動をしている。

患者の要望は、病院あるいはクリニックを通してガン協会に連絡される。そして同協会の担当者がボランティアの人に電話連絡する。「トロント総合病院で、来週月曜日にパティが乳房全摘出手術を受けます。パストは九十センチ、Dカップですから、それに合うパッドを回復セットの中に加えて下さい。四十五才で子供は十二才と十才。夫と別居中です。第一言語はスペイン語ですが、英語もわか

ります。行っていただけますか。」といった具合で、都合がつけばその旨返事をし、先方と時間の打ち合わせをする。

ボランティアは「回復セット」と乳ガンに関する小冊子、サポートグループの情報を持つていく。回復セットの中には手術後の体操に役立つロープ、手首の筋肉を強めるために使うポール、脇の下に挟んで傷口の痛みを和らげる小さなクッション、そして、乳房全摘をした人が臨時的に使うパット等が入っている。

病院を訪ねる場合もあれば、患者宅の場合もある。「ガン協会から来たボランティアのときです。」と、まずは自己紹介をする。すると、不思議なことに大方の人が「あなた、本当に乳ガン体験者ですか?」ウツソウと言わんばかりの第一声。相手の期待を裏切るほど、元気になった自分がう

れしく、思わずニッコリしてしまう。私に見舞う患者の共通点は、一般的には前向きで活発な人が多く、体験者から役に立つ情報を手に入れようと必死だ。中にはご主人からの質問攻めに会うこともある。

代表的な質問には「私は子供がいるし、どうしてよいかわからないわ」「職場に復帰できるかしら?」「差別されないかしら?」「夫婦生活がうまくいくかしら?」「夫に見放されるようなことはないかしら?」「抗ガン剤治療を受けたら毛が抜けると聞いているけど、あなた、どうしてそんなに毛があるの?」「家のローンが残っていて心配だわ」「乳房の再生手術どうしよう」と不安や心配事が出てきてきます。時には愚痴混じりになることもある。

ある患者は「あなた、東洋系なのにどうして乳ガンになったの?」と、私に助けけてくれなかったの?と、私の分まで怒ってくれた。そういえば中国系カナダ人の患者も「一般のカナダ人よりずっと健康食を食べているつもりだったし、子供だって普通に生んだのに、こんなことであるかしら」と手術後の痛みを抱えながら、ご主人の前でどうしようもない感情をぶちまけていた。

しばらく話を聞いているうちに、患者もハツと我に返り「私のことばかりしゃべってしまったけど、あなたご家族は? 仕事はどうしました?」等と聞いてくれる。「三人の子供を抱えるシングルマザーで、治療中もパートの仕事をして生活費を稼いでいたんで

すヨ

「ええっ……」と、しばらく泣いていた子供が突然泣き止んだように沈黙状態になる。

「ウエルスプリングのようなサポートグループを利用したり、周りの友達との協力があつたから乗り切れたんです。」

「あー、そう。それなら、私も出来ないはずないわね。」

こんな具合に、ほんの数十分の間の出来事だけれど、話していくうちに相手から脱し、何かが見え始めてくる。それが、具体的な人生の課題のようなものになり、回復へと導いていく。

全くお金にならない仕事だけれど、生存事実を見せるといことが、患者の回復に大きく貢献しているのだと信じ、回復セットを手元に、待機しているこの頃です。

\* \* \*

「Reach to Recovery」サービスを受けるには、病院、あるいはクリニックから説明があると思うが、もし、ない場合には、看護婦、あるいは医師を通してリクエストを出せば、手配される。トロント地区では、日本語のわかる人を指定することもできる。



星晨をたずねて(そのV)

「大火」ーさそり座ー

宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」の星



月華 麗

天文観測によりますと、ここ数年、地球に近づく隕石が増えているそうです。宇宙からの世紀末現象なのでしょうか。夜空を眺めつつ銀河のほの白い輝きに、ふと溜息が出ます。夏の夜空の代表的な星座といえば、雄大な曲線美の「さそり座」でしょう。中でも、その心臓に当たるアンタレスの紅色には目を奪われます。

さそり座の心臓を中国では古来「大火」と呼びならわしていました。何もかも焼き尽くすように、まっ赤に燃える星。直径は太陽の二百六十倍もあります。

毒虫のイメージからか、ギリシャ神話ではさそり座はいつも悪役です。太陽の神アポロの息子バエトンに襲いかかり、彼の乗る太陽の二輪車を暴走させ、そのため天と地は火の海となりバエトンは命を落としました。月の女神アルテミスとの恋人で、海の神ポセイダンの息子であるオリオンを、その毒で殺したのもこのさそりです。オリオンが冬の空にあり決してさそりと顔を合

わそうとしないのは、さそりを恐れての事だといえます。オリオンが殺されたのは、一説には、アルテミスとの恋を嫉妬した女神ヘラの指図によるものとされていますが、大火を持つさそり座としては相応しい話かも知れません。

大火は一筋縄ではゆかぬ星です。正しく理解されることは少なく、貧困や病弱がつきまとい、悪くすると世の中を斜めに見て、一人淋しく膝を抱えることにもなりかねません。何ゆえに誤解され、何ゆえに報われないのか。この大火の本質を見事に喝破して、さそり座に暖かい目を向けた人がおりました。

宮澤賢治の「銀河鉄道の夜」をひもといてみましょう。きらきらと星をちりばめた様な文章で展開する世界は、透きとおつて幻想的ですが、この作品に流れる精神は、自己犠牲であり、愛であり、哀しいほどの孤独感です。「銀河鉄道の夜」では、さそりは恐ろしい毒虫のまま

では終わりませんでした。いたち食べそこねられ、井戸の中で死んでゆく時、

「どうしてわたしは、わたしのからだをだまっていたちにくれてやらなかつたんだらう。そしたらいたちも一日生きのびたらうに。」

と後悔の念にさいなまれ  
「こんなにもむなしく命をすてず、どうかこの次にはまことのみんなの幸せのために私の中からだをおつかい下さい。」

と祈つて、自分の体をまっ赤に燃やし、夜の闇を照らすのです。主人公のジヨバンニは

「僕はもうあのさそりのようにほんとうにみんなの幸せのためならば僕のからだなんか百べん灼いてもかまわない。」

と言ひ、カムパネルラはクラスメイトが溺れるのを自分の命とひきかえに助けます。幼馴染の死によつてジヨバンニはいっそう淋しく孤独になつてしまいました。しかし孤独は魂を養う糧。大火はそれをよく知っています。

一見ネガティブな形を取ってはいますが、大火の本質は「昂」と同様に愛なのです。昂は皆から歓迎され、喜ばれ、認められるポジティブな表れ方をします。おだやかで賞賛されます。しかし愛のエネルギーは時として我と我が身を焼き尽くす炎ともなります。爆発し、荒れ狂い、傷つき、それでもなお胸で燃える炎は、人や社会を変革するエネルギーです。ほんとうの幸せ

のために我が身を燃やすさそりに暖かい目を向けた宮澤賢治も、胸に大火を燃やす人でありました。彼の生涯は大火の愛そのものであったと言えるでしょう。  
「ほんとうにみんなの幸せのためならば僕の中からだなんか百べん灼いてもかまわない。」

自己犠牲は常に孤独で哀しい色彩を帯びています。人の世で、一つの幸せが生まれるためには、一方で犠牲が必要なのだとすれば、ほんとうの幸せって何なのですか。小作品の「蜘蛛となめくじと狸」では、彼等が獲物をたくさん獲り幸せになつた時「蜘蛛はとけて流れ、なめくじはペロリとやられ、狸は病氣にかかりました。」腹一杯食べた狸のからだは無闇にふくれ、中に野原や山ができて、狸は地球になつてしまふのです。

宮澤賢治は詩人、童話作家、農業技術者を越えて、日本の土壌が生んだ偉大な思想家です。舶来のいかなる思想や価値観を物指しにしても彼の世界を理解することは出来ないでしょう。そして思想は、政治の都合や軍勢力と共に伝播するものですが、賢治の思想はそういつた権力とは全く相容れませんが、地球が降り注ぐ隕石によつて壊される様な不幸に見舞われない限り、賢治が求めて止まなかつた「ほんとうのみんなの幸せ」の未来が実現する事はないのでしょうか。

# ウエストコースト北部 美術散歩

## シアトルの美術館と

### エミリー・カーを訪ねて

山本博

シアトルの郊外のベルヴェーに住む友人を訪ね、旧交を温める機会を得た。トロントからシカゴのオハラ空港を経てシアトルに向かう。しばしのうたた寝の後、キャスケード山脈の山並みを眼下にタコマ空港に降りる。空港に私達一家を出迎えてくれた彼は、六年ぶりの再会にもかかわらず以前と同じ態度で、暖かい笑顔で迎えてくれた。お互いの子供の成長に驚き合ったが、私と友人は時の流れを忘れたかのように語り合えたのは嬉しく、しばらく時を経た今も懐かしい。

シアトルは多くの人が住んでみたという街だけあって、海あり山あり湖あり、で風光明媚な所である。ウオーターフロントのピア(埠頭)にはそれぞれ番号がついていて、ピア48、ピア70などと呼ぶ。港にはモスキート・フリート(一九四〇年まで活躍したフェリーの前身)や真赤な消防艇が停泊し、汽笛の音や潮風も海のない土地からの私には新鮮だ。倉庫のような建物の中には土産物屋、骨董品屋、輸入雑貨屋、古着屋、シーフードのレストラン、回転木馬の遊園地、生きのいいカニ

やロブスターを売る魚屋などがひしめき合っている。フィッシュ&チップスの臭いとクラムチャウダーの湯気の中を歩いていると何だか子供の頃に返って、新しいもの、古いもの、何でもあるのおもちゃ箱の中に入ったみたいで、私の好奇心はくすぐられっぱなしだ。この街には訪れる者を拒まぬ雰囲気がある。

ピア59には水中ドームで有名なシアトル水族館があり、百五十種以上の海洋生物の生態を展示している。折りしもラッコちゃん数が数時間でお産をするにあつて、テレビカメラの放列、しばらく待っていたが、残念ながら生命の誕生の瞬間には立ち会うことが出来なかった。

また市内にはシアトルのシンボルのCFOを思わせるような円盤型のタワー、スペース・ニードルやパシフィック・サイエンス・センター、モノレール、一九一六年に誕生したボーイング社の本拠地にある航空博物館、六八〇エーカーの広大なワシントン大学キャンパス、車で二時間のレニア山国立公園がある。ワシントン州の最高峰レニア山は山容が富士山に似ていることとタコマ市の近くに

ることから、地元の日系人は「タコマ富士」と呼んでいる。

シアトル市街の背後にあるワシントン湖には橋全体が水の上に浮かぶ全長二キロ余りの二つの浮き橋があり、この橋上から見るレニア山は芦ノ湖から見る富士のようでもあり、親しみを憶える。

シアトルは最近任天堂やハイテク産業の進出で、ビル・ゲイツも住むという。西海岸では活気のある街の

ひとつで、まばゆく光る高層ビルが増えていく。また日系人になじみのアメリカ北西岸で最大の日本食料品店の宇和島屋がインターナショナル・デイトリクトにある。日本食、野菜、魚介類、日本の日用雑貨、台所用品、文具、アジアの食料品もある。二階には紀伊国屋書店が入っていて、新刊書や雑誌が豊富にあり、ビジネスサイドからの日本人同士の交流や日本文化紹介の場となっている。



古代と現代の出会いをモチーフにしたシアトル美術館





リキテンシュタインの「スタディー・フォー・ヴィッキー」(シアトル美術館)

さて、シアトルのアート事情に  
ろう。

◆シアトル美術館

起伏に富んだシアトルのダウンタウンのバイクブレイス・マーケットからファースト・アベニューを南下すると、通称サム(SUM)と呼ばれるシアトル美術館がある。正面玄関には巨大な「ハンマリング・マン」の像があり、目印になっている。付近にはアンティークの店や画廊も多くある。市内には二百余のギャラリーがあるという。人々のアートへの関心が高い街である。

美術館に一步足を踏み入れると、外光をふんだんに取り入れた幅の広い階段、グランドステアウエーがあり、中国の像が迎えてくれる。そしてすぐ隣にはシエラトン・ホテルが経営するカフェがあり、鑑賞の前後に食事やお茶を楽しめるリラックステイルドの現代風の美術館である。

建設計画発案からさまざまな関門を経て十年後の一九九一年十二月にオープンしている。この美術館はアート・ミュージアムと名付けていて、美術館と民族博物館の役割を果たして、古代と現代の出会いをモチーフにしている。展示品総計は一万九千点にのぼり、一階から四階に地域やテーマに分けて、展示されている。この美術館の特徴は地元米北西部の現代芸術家の作品、ネイティブ・アメリカンの作品に力を入れていること、民族のルーツをたどる美術を紹介していることである。そして鑑賞と共に参加する美術というか、民族楽器などが置かれた部屋では実際に楽器に手を触れて楽しむことが出来る。私と友人の子供達はこの部屋に閉じこもり、「ボンボコボン」と太鼓のジャムセッション。森の住人になってしまい、美術鑑賞はパスしてしまった。それでもいい。私自身も美術館に入って、好きな作品一、二点をじっくり見て、後には何も憶えていないということも多い。

現代美術のコレクションではリキテンシュタインの「スタディー・フォー・ヴィッキー」等もあり、美術の流れを感じる事が出来る。

◆シアトル・アジア美術館

特筆すべきはアジアだけの美術を専門とした美術館がボランディア・パークに九三年オープンした。シアトル・アジア美術館である。ダウンタウンの美術館の別館といったもので、チケットは二日間併用で料金は

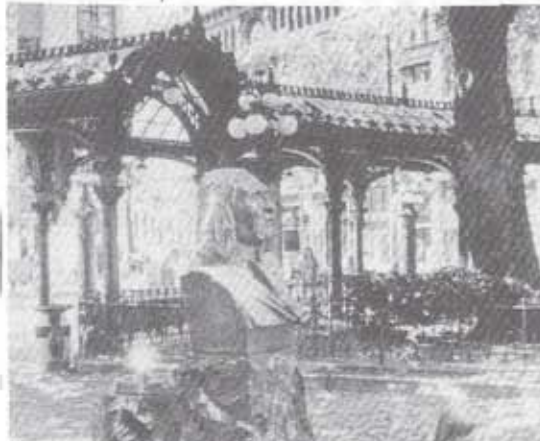
同じである。ともすればアジアの国々をごちゃ混ぜに見てしまいそうなのだが、中国・日本・韓国・ベトナムなどと地域ごとに部屋が分かれていて、理解しやすく展示されている。陶器や仏像も各地域のものが集められている。日本美術では埴輪や土器、陶器、民芸、屏風などのコレクションを紹介している。向こう岸は日本、アジアということもあって、東洋美術に対する関心の高さがうかがわれる。現在展示されているアジアの美術品は所蔵品のうちわずか十五%だそうで、多くの作品が眠っているということも次の訪問が楽しみである。またバーフォーミング・アートとして夏の期間中、日本の太鼓やインド舞踊やガムラン音楽などの実演もある。

◆バイオニア・スクエアのギャラリー

シアトルのアートで見逃せないのが、シアトル発祥の地であるバイオニア・スクエア。十九世紀後半に建てられた建物がオフィス、カフェ、レストラン、画廊、アンティーク・ショップ、書店、ギフトショップなどに使われている。ヴィクトリア調のパーゴラ(鉄製のアーチ)とトーマスボールを中心に街が広がっている。ギャラリーも数多く、ニューヨークのソーホーに雰囲気似ている。日本の浮世絵を中心とした版画作品を取り扱っている店はキャロライン・スタリーと東ギャラリー、広重、豊信、国貞、芳年などの浮世絵作家から斎藤清、田中良平などの現代作家の作品もある。フォスター・ホワイト・ギャラ



シアトル・アジア美術館



シアトルのバイオニア・スクエア



ガヴァーメント通りの裏手にあるエミリー・カーの生家



エミリー・カーの「Mad Bab Tree」(バンクーバー美術館)

リー、デビッドソン・ギヤラリー、グレッグ・クセラ・ギヤラリー、グラバー・ギヤラリー、エメラルドシテイ・フラインアート等々三十店以上の画廊が軒並みに並んでいて、これらを覗いて見るのも楽しみ。

◆エミリー・カーの生家を訪れる

シアトルからヴィクトリアに船で海路を渡る。ヴィクトリア・クリッパはピア69より出ている。見送りの友人といつの日かの再会を約束し、税関でパスポートを見せ船内に入る。シアトルのダウンタウンの全景を海から眺めながら汽笛の音と共に別れを告げる。ワシントン州のオリンピック山の雪を冠った山並みと青い空のコントラスト、潮風の香りが体に心地よい。約二時間半でプリティッシュ・コロンビア州の州都バンクーバー島の南端にあるヴィクトリア湾に入る。インナー・ハーバーに入ると一九世紀末に建てられた州議事堂、エムプレス・ホテルなどの英国風の建物が並ぶヴィクトリアに着く。ガヴァーメント通りの裏手にある静かな住宅街を散歩しながらエミリー・カーの生家に向かう。

実業家の父が建てた生家はそのまま保存され、室内には当時の家具や調度品が置かれており、暮らしの一端を偲ぶことが出来る。エミリー・カーの生涯については、以前オーロラ第十号で紹介したが、一八七一年十二月十三日にヴィクトリアで五人姉妹の末っ子として生まれ、一九四五年五十六才で亡くなった当時としてはめずらしい女性画家で、

先住民であるインディアンへの深い共感をもとに、その暮らしぶりやテーマポールを描き、後期にはプリティッシュ・コロンビアの自然や森の精神世界を表現したカナダを代表する画家である。

絵を見る楽しみは、絵の中の題材や色彩の構成にあるのだが、画家の生活や当時の時代を偲ぶのは、芸術の生まれた背景を理解するのに役立つ。より絵画を深く読むことが出来る。エミリー・カーの場合は幸せな少女時代を過ごしたが、両親の早い死、アメリカ、イギリス、フランスでの芸術家としての修練、その後の生活との戦い、ローレンス・ハリスに認められ、精神的な安定を見てからの制作、など人間としての一生を考えながら生家を見た。外に出ると庭にはウサギが飼われていた。

◆バンクーバー美術館

エミリー・カーの作品の多くがバンクーバー美術館にある。市の中心部のロブソン通りのイトン百貨店の隣である。館内に入るとゆったりとしたロビーの天井から自然光を取り入れた空間設計である。所蔵のエミリー・カーの作品、二百三十八点のうち初期から晩年までの四十点が常時展示されている。生前には彼女は孤独で偏屈で変わり者扱いをされていたが、それらの絵は荒さの中にもやさしい愛が溢れていて、死後五十年になるが多くの人々の魂に生きるとは何かと今も問い続けている。

(日本画家)



”Big is beautiful” 大きいことはよいことだ、といひますね。カナダの大銀行の合併騒ぎを見てご覧なさい! (Look at the frenzy of Canada's already big banks planning to merge.)。映画「ゴジラ」の広告も”Size does matter”。ギネスブックも毎年、世界記録を発表して、”最大”であることをあおっています。

音楽の世界でも”大きいことはよいこと”のようです。最近、オペラ「アイダ」の広告を新聞で見ました。このオペラはスエズ運河の開通を記念してヴェルディが作ったので、”大きさ”に関係があります。トロントのスカイドームで壮大なショーが上演されるらしいのですが、大きさだけが強調されていて、作曲家の名前は小さくしか出ていません。歌手の名前に至っては全然出ていませんでした。

何年か前に同じような巨大な「アイダ」をビッグ O として知られているモントリオールのオリンピック競技場で見たことがあります。モントリール・エキスポズのホーム・グラウンドです。なぜビッグ O かというと、天井が O の

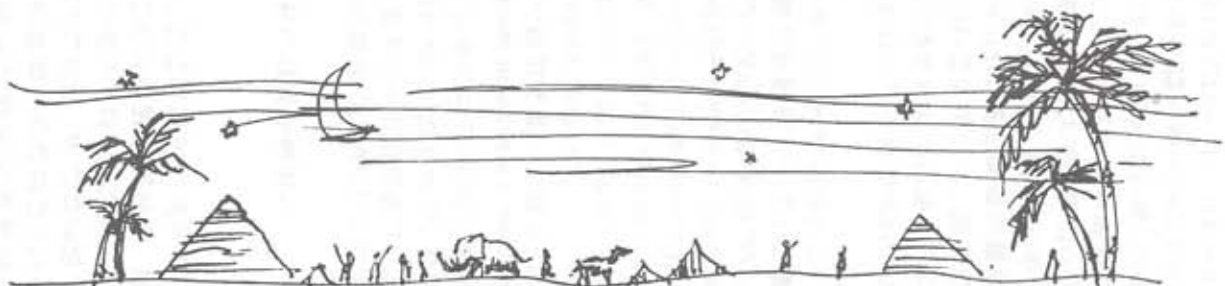
字に空いているからです。吊りふたをする予定でしたが、予算が足りなくて、ふたまで手が回らなかったのです。その夜のことをよく覚えています。何とも壮大な夜でした。スタジアムが広いので、一番後ろの席は舞台から1マイルも離れた感じでした。聴衆はコンサートのような静かな雰囲気ではなく、競技場なのでたいへん賑やかでした。まるでカーニバルのようでした。舞台では序曲が始まりました。客席では遅れてくる人を通すために立ったり、座ったり、その度にプラスチックの座席がガタガタと音を立てます。(make sound clickety-clack)。And as they rose, the seats, being of plastic, made their distinctive "clickety-clack'sound." As all sat down another chorus of "clickety-clack".

舞台は壮大そのものでした。歌手達も素晴らしい声でした。でも声だけでなく、演技も舞台の競技場が広くて距離があるので、駆けずり回らないまでも、沢山歩かなくてはならず、大変でした。ラダメスはアイダとの”愛の二重唱”を歌うために、舞台の中央にいるアイダの傍らに到達するためにいつもより2,3分早く出てこない間に合わなかったのです。見ものは何ととっても動物達のバレードでした。本物の象、作り物の大蛇、歌手達が高尚に歌うのを聞きながら、観客は象を一生懸命見ていました。

ここまで日本語で書きましたが、くたびれたので、後は英語で続けさせていただきます。

It was a night when size mattered. But the size overwhelmed the music and at the end I was disappointed, so much so that instead of staying to applaud the singers, I said "Let's hurry out of here and get home." We were the fortunate ones to get home quickly. Next day we learned that the Montreal subway had stopped at its usual time, just a few minutes before the majority of the Aida crowd had left the stadium, leaving thousands angry and trying to find taxis.

Recently an opera afficiand stated that opera is 80% music. If you agree you might be happier listening to Aida at a smaller venue. On the other hand, if you want to be entertained on a grand scale, do go to the Skydome.



# 幻の温泉発見記

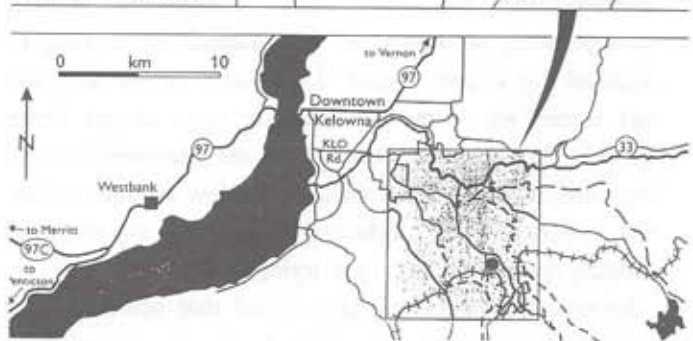
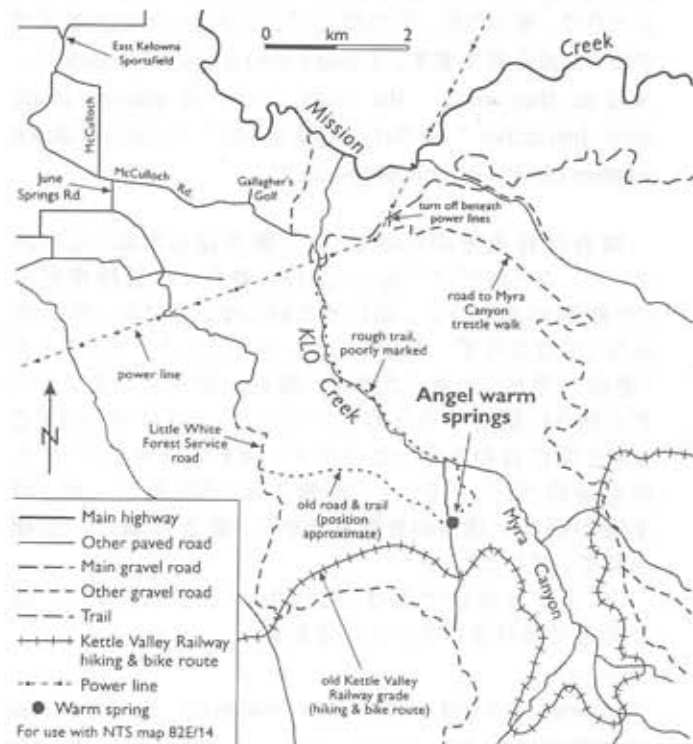


## “天使の泉” Angel Kelowna Warm Springs

☆愛想の良さはあてにならない

長い温泉探査でカナダ中を飛び歩いていると、人間と同じように村や町にも寿命があることがわかる。ハリソン・レイクの上流にあるポート・ダグラスなどは、今はインディアンが一人住むだけのゴーストタウンだが、百年前には人口五千人のカナダでもかなりの規模の町であったという。古い歴史をたどっていると、突然、鉱泉や温泉があったというおもしろいエピソードに出会う。こんな記録を見つけると、矢も盾もたまらず、すぐに現地に飛んで行くのだが、住んでいる人が少ないだけに、どうしても情報が限られてくる。

インディアン・リザーブに行き、古老に幻の温泉の話をする、昔行



ったことがあるなどと、愛想良く教えてくれる。ところがここからが、いつも決まって問題なのである。私が航空写真や一万五千分の一の営林署用地図を出して、具体的にどこかと尋ねると、急に雲行きがややしくなってくる。普通は、リクリエーション・マップや二十万分の一くらい地図なので、だいたいあのあたりだと話をにこせるが、営林署用地図だと、小さなクリークや道路のカーブまで詳細に載っており、いい加減な答が出来なくなってくる。そうすると何十年も前のことなので忘れたとか、お祖父さんから聞いたなどと言う。「じゃ、そのお祖父さんに会わせてくれ。」と言うと、何年も前に死んだというオチになってしまう。

簡単に幻の温泉が探せるわけは

ないが、ストレスがたまって、調査中、二度ほど急性胃炎になったことがある。莫大な費用と時間を使っても、そんな無駄やめればいいじゃないかと言われるが、笑われながらもなかなかやめられないでいる。ところが、いろいろな情報があると、瓢箪から駒で、幻の温泉を発見することがある。

☆ケローナに温泉がある？

そうした情報のひとつから四年程前にBC州ケローナ市の南に幻の温泉を発見することができた。これが今回、二十年ぶりに改定出版された『Hot Springs of Western Canada』、オカナガン地区の唯一の温泉として紹介されるようになった。

一九九三年二月にロック・クリーク (ROCK CREEK) から五十キロ、ハイウエイ三十三号を北上した、ビーバーデル (Beaverdel) という小さな村のコーヒショップで休憩した。ここは昔、銀山で繁栄した町で、最盛期には三千人以上も住んでいたところである。

店の隅でコーヒを飲んで八才くらいのお爺さんに話しかけたら、退屈していたらしく、話題の豊富な人であった。私が温泉の調査をしていると言ったら、子供のころ、ケローナの南のKLO Creekの近くにあった温泉で、冷えた手足を温めたと言う。正直、半信半疑であったが、たぶん私の声はふるえていたと思う。お爺さんにコーヒとドーナツをご馳走して、すぐにケローナ市に直行した。



幻の温泉エンジェル・スプリング

BC州でも、比較的人口の集中しているオカナガン地区に温泉があれば、ビジネスとして成り立つので、私にとつてはすごい情報であった。ところが市役所に行き、温泉の話をしたら、誰も笑って本気にしてくれなかった。全員がそんなことは聞いたことがないと言う。KLO Cregeに行つて、近くの住民にも聞いたが、笑われただけで、結果は同じであったので、私もお爺さんにくわされたときの時は思った。

☆百年前の記録に載っていた

ところが、翌年の三月、バンクーバーの地質調査所で、"Hot Springs of Western Canada"を書いたグレン・ウッドワース氏(Dr. Glenn Woodsworth)と会った。最新の温泉情報を交換しているうちに、彼は、断言できないがと断りながら、私の知らない泉を二

カ所教えてくれた。その一つがケロイナの天使の泉である。私は一年前のことを話し、あれはガセネタであろうと言つたら、彼は百年以上前にZLO Cregeの下流で砂金を採つていた人達が書き残したものの、温度はわからないが、Angel Springsという名泉が記録されていると言う。砂金採取で凍えた手足をその泉に浸けて、鉱夫達が気力を回復させたので、天使の泉という名がついたそう。彼は実際にこの泉に行き、手を入れたら、少し温かかったような気がしたと言う。残念ながら温度は計っていないので、私に調査してほしいと言う。この情報はかなり信憑性があるが、彼もこの泉を温泉とは断言しなかった。

トロントに戻つて、有名な地質学者のチャーチ氏に連絡した。オカナガン地区の最新の地質図は、ほとんど彼の手によって作られている。しか

し、この長期にわたる調査の時でも、温泉の話は聞いたことがないと言う。彼の教え子の、オカナガン大学の地質学教授であるジョン・グリーンノグ氏(John Greenough)を紹介してくれた。早速、ジョンに連絡したら、来週あたり調査に行つてみるという。彼はヒッピーの様に飄々としており、人のことは言えないが、私から見ても大変な変わり者であった。

☆残雪の中のアアシス、幻の温泉

三月末に温度は十二度だが、雪解け水が混ざっているので、温泉はかなり高い可能性があるという、フアックスが届いた。二週間後にケロイナ市の飛行場で彼に出迎えてもらい、すぐ現地に向かった。

登山道のいたる所に残雪があり、一時間半の行程はかなりきつかったが、彼等が言っていた目的の泉に到達した。ところが泉の温度を計つたら、八度しかない。八度では普通の地下水と同じで、わざわざトロントからお金を掛けてまで調査に来る価値はない。彼は二週間前には確かに十二度はあったと言う。ただ温度が低くても、熱水作用を受けていれば、緑色の藻や、黄ばんだ豆腐のような湯の花が必ずあるはずである。ところが、四月中旬になったので雪解け水で増水し、湯の花類も全て流されていたので証明できず、彼はすまなそうにしていた。私は内心かなり落胆したが、「温泉探しではよくあることだから気にしないでくれ」と言つたら、彼は「私は地質学者だ、

インディアンや山師と一緒にしないでくれ」と怒った。

仕方がないので、ともかく一休みする。一服して落ち着いたので、グリーンが言っていた未確認の大きな泉の調査に上流に向かった。この調査はかなり強行で、急斜面の上、朽ち果てた倒木がいたる所にあるので、これを踏み越えながら進まなければならぬ。トロントを朝早く出たので、さすがに体力の限界まできていた。ところがジョンは責任感か？ 脇目もふらず調査している。だんだん薄暗くなりかけてきたので、正直、調査を打ち切りたかったが、ジョンの気迫に押されてなかなか止めようと言えないでいた。

気力をふりしぼつて調査をしているうちに、"Hot" (石灰華)が四、五百メートルにわたって岩盤になっているのがわかった。これだけの"Hot"があるということは、何万年前には大温泉があったという証拠でもある。このうち私は残雪の中に青い色の生えている水たまりを発見した。手を入れてみると少し温かく十二度あった。私は興奮して大声でジョンを呼んだ。急に二人とも元気になり、血眼になって付近を調査していたら、そこだけアアシスのような青い群生地が見つかり、蛙が飛び跳ねていた。

ついに幻の温泉を発見したのである。湯量はそんなに多くないが、温度三十一度、これは立派な温泉である。大変な発見なので、GPSで正確な位置と十数カ所の湯口を計り、ジョンは大喜びで詳細にノート(31ページ下段に続く)

# 今日はどこへ行こうかな？

## ある窓屋さんのつぶやき

森貞一弘



### 【九十五年からの反省】

もう三年も前に発表された九十五年型の「窓」、既製品を原料として見た目を改善することに開発部門が全力を注いだ画期的な新品だったハズだったのに、実は、最初から無数の目に見えないヒビが入っていて難に扱おうと壊れてしまうという粗悪品だと一部の消費者にはバレてしまった。それに手抜き工事したのも見事に見破られてしまった。しかし、助かったのは、どういう訳か庶民にはたくさん売れたらしい。CNタワーに大きな垂れ幕を付けた事も手伝って発売当日、わざわざ夜中に列を作って買って行った盲目的な信者がいたのには驚いた。

### 【遅ればせながら九十八年】

いや、最近「九十五年型窓」の売れ行きも芳しくないし、庶民の間では既に興奮が冷めてきた。それに、旧版に潜在している問題点は多すぎて解決できそうもない。あ、本当は改良版を去年にでも出さなければいけなかったのだけれども……ここで再度、見た目と旧製品の問題を一部解決した製品でも出そうか？でも今回はちょっと自粛して控えめに発表することにした。けれど競争会社が値段を半額位に設定しているにも関わらず、当社は強気で行くぞ！何と云ってもうちは馬の尻尾でも、それなりに形を整えて高く売ることができ自信があるのだから。

あつ、そうそう、一時は倒産かと噂された例の巨大な果樹園、可哀想に何人か責任者が変わったけれど、結局、あぶく銭を投資してやっから景気がよくて人気商品の「姫リング」も結構、売れているみたいだ。一時は驚異的な存在だったけれど、もうこれで、飼い主を噛むような犬のまねはしないだろう。

### 【九十八年は、やつぱり未完成！】

司法省や公正取引委員会の偉い人達が、よけいな事してくれたので、焦ってしまった。でも裁判所って視野が狭いから助かったよ。訴訟内容的確でなかった事と、痛い所を突いてこなかったのが幸いだった。(本当は、もっとやばい部分があるのに証明が困難な事では有罪にはならないのだ。)でも、そんな訳で新製品は散々なものになってしまった。発売してから一週間も経ってないのに千個程、問題点が発覚して、早急に修正が必要だと分かった。運悪くマスコミが嗅ぎつけて騒ぎ出したので「機能の強化が必要だ」と会見しておいた。同業者から見れば類のない汚点かも知れないが、ひよつとしてギネス・ブックにでも載りそうな気もするのだが……

### 【こんなに努力したのに】

あの裁判以来、世間の目は冷たくなったようだ。いや、ひよつとして庶民も皆、冷静に物事を判断できるようにになったと捉えるべきだろうか？……全然、売れてないけれどマスコミには、未発表だった架空の数値を基準として「予想を遙かに上回

る売れ行き」とだけ発表しておこう。そうすれば時代遅れを恐れる者達が心理的圧迫から購入するかも知れないから……

ともかく見た目が非常によくなつた事を認めてほしい。起動と終了時のイライラする時間的な遅れを短縮することで、あたかも製品の処理能力が向上したように錯覚するように工夫した。実際の処理能力の向上は九十五年型を九十八年型の窓に変更しただけでは不可能だ。いっそのこと、窓だけでなく家ごと飛びきり豪華な新築に買い換えてもらわないと新製品のよさは分からないだろう。(公には発表できないのだが……実は、古い家だと十割ほど効率が悪くなるのだ。)

### 【大きい声では言えませんが】

新製品では、操作が簡単になつたのを売り文句にしていますが、実は九十五年型でも無料で配布されているIEという機能を導入すれば、結局、同じようになるんですね。でも面倒くさがりの人が多いから新製品に飛びつくのでしょうか。

### 【残念ですが……】

はつきり言つて根本的には何も役に立ちそうな部分への改善点は見あたらないのです。だから、せめて「遊び心」を大切にしたいと思つたのでしよう。この新型の窓を通して、実は未だにはつきりと規格が統一されていないデジタル・ビデオ・ディスクで映画鑑賞ができるのです。(でも混乱を覚悟で、わざわざ



DVDを見るために事務上、実践的に役に立たない新型窓と取り替えるつて心理は、一体何なのでしょ  
うか？)

もうひとつ、どうでも良いけれど  
ゲームが楽しくなるそうで、どうや  
らフライト・シミュレーターなどで  
は飛行機の前面と全体が二つの画  
像表示装置に別々に表示されるよ  
うになっています。(これで又、勉強  
しない生徒と仕事しない会社員が  
増えるでしょう。)

【でも理想は?】

裁判で苦しかった頃、とても金  
持ちで有名なゲイツ君が東京に避  
難して「自動車の自由に、気軽  
に、どこにでも行ける製品として  
窓を位置づけたい。」って発言しま  
した。そういえば「今日はどこに行  
こうか?」なんて文句が、宣伝文  
句になっているんだけど……えっ、  
おいおい、本当?大変だ。どんなに  
車線が多い高速道路でも自動車が  
一度に一台しか走れない?、一日  
に二度程、理由もなくエンストす  
る自動車でも、文句も言わず諦め  
て、定員数は一人だけ。それ以上、  
乗せなければ座席をオプションで  
購入しなければいけないし、全員  
が同じ形のお尻になるように整形  
しないと乗車できないなんて。人  
数が増えれば増えるほど調子が悪  
くなって「まずエンジン、それでもダ  
メなら新車に買い換えて」と要求  
される。冗談きついね、あの人は。

【騎りが見えてきた?】

まあ、そんな風に窓屋さんは思っ  
たより新製品が売れなくて不景気  
なようです。では同業者や競争会  
社はどうでしょうかと問い  
COMDEXに行つて来た。どうも毎  
年、小規模化しているのが目につ  
いた。一応、勤務先の上司には「教育  
と視察を兼ねて」という大義名分  
があるのですが、実は無料で配布  
されている見本やプロモーション用  
の小物やアクセサリを収集する  
のが楽しいのです。(それでも、今  
年はケチな会社が増えたと実感し  
た。)

「はてさて今日はどこへいこう  
か?」

カナダの夏はとても素敵だ。はっ  
きり言つて現状に満足している僕  
には九十八年型など、どうでもい  
い。機械の相手は冬でも出来る。  
だから、夏は思い切り遊びに夢中  
になろうと思う。

コムデックスで苦労した収集品  
の中に、役に立ちそうな物はない  
かと入り口で配布されていた「窓  
屋」のビニール袋を広げて見ると、  
とても良いものがあつた。某日本電  
化製品メーカーから入手した赤い  
靴(去年も同じだった)が便利だに  
靴とユニフォームを詰め、サンブル  
ソフトか何かが入っているらしいC  
Dは清涼飲料水のコースターとし  
て利用しよう。強い陽射し対策と  
して、聞いたことのない会社が配布  
していたサングラスを付けて、今日  
も、テニス・コートに出かけ、思い切  
り汗しようと思う。



新しく発見した700メートル上流の源泉で  
チャールズ・ランメル氏と

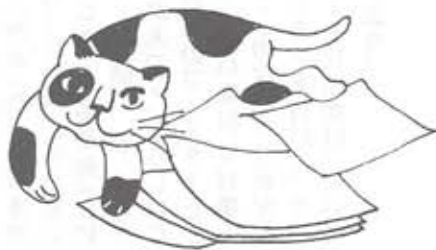
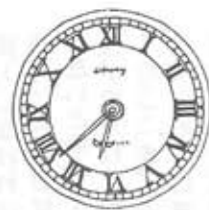
(29ページから続く)  
に記録していた。もう日が落ちたの  
で、細い登山道は危険きわまりない  
が、二人ともかなり興奮していたの  
で、足取りも軽かった。

☆BC州政府より開発は却下され  
る

彼の家で食事をご馳走になりな  
がら、今後の対応について協議し  
た。彼はビジネスには興味はない  
が、これだけの貴重な発見なので、  
発表したいと言う。二年後に発行す  
る予定のケローナ地質学 Geology of  
Kelowna Area という本の中にこの温  
泉のことを書きたいと言う。本の発  
行は九六年の春の予定なので、それ  
までに私がBC州政府から開発の  
許可を取ると言うことで合意した。  
ところが州有地なので、なかなか州

政府の許可が下りず、本の発表の方  
が先になってしまった。結局、マイラ  
・キャニオン(Mylra Canyon)全域を  
州立公園にするという理由で、九六  
年九月に開発申請は却下された。  
莫大な経費を使ったわりにはビジ  
ネスとして成功させられなかった  
が、カナダの温泉史に新しいページ  
を加えたことは事実である。ジョンの  
本によつてケローナにも温泉がある  
ということが、一般に知られるよう  
になり、ここ一、二年、訪れる人が  
かなり増えてきたそうである。この  
エンジェル・スプリングは二千年まで  
は私が鉱業権を持つていたが、ハイ  
カーに人気が出てくると開発はもう  
不可能であろうと思われる。こんな  
楽しみがあるので、幻の温泉探し  
は、騙され笑われながらも、情報  
があれば気力の限り続けていくつもり  
でいる。

# 猫と残業



ういう悪夢の職場であった。

かれこれ十数年前、東京にいた頃、弱小広告代理店に勤めていたことがあった。毎晩残業で、納品間際はまさに地獄図を立体化した社内となる。朝四時、深夜営業のお店のシャッターが閉まる音を聞きながら、片手におにぎりを持ったまま、ひたすら広告のコピーを書いていたこともあった。

私の隣には、翻訳専門のオクちゃんが見目をこすりつつ、大手自動車会社の英文のパンフレットの原稿によだれのシミをつけながらも頑張っていた。我々のボスは向かいのデスクに突っ伏して、莫大ないびきをかいている。

私はオクちゃんにおにぎりを手渡ししながらささやく。「部長、また莫睡だね。ところで、もし、机の下に猫が百匹いたらどうする？素足になって、うりうりさわりたいね。」

オクちゃんは、真面目な顔で「百匹は多すぎるよ。でも、猫がいたら気が晴れて、残業も少しは楽になるかも」と同意してくれた。地獄耳の部長は、頭を机から引きはがすと「馬鹿言わずに仕事しろ！」と叫ぶなり、ガクンと首を垂れ、莫睡に戻っていった。こ

おトイレはこね、餌と水も置いて、毛布を敷いて、何くれとなく注意を払ってくれるうえに「ちよつと用事があるから」と言つては、誰かしら地下室に降りていくのであった。それでも、ネコ達と遊んではいられないことを一応自覚しているの、閉館間際まで、誰も何も言わずに何かをこらえているようだった。

ついに閉館の六時。図書館利用者は去り、館内は静かになった。上司が、「ここに猫を連れてきて、ちよつと放してみましようよ」と提案するや、職員四人の目は輝いた！

部屋に連れてこられた初めこそじつとさわられるままだった二匹も、しばらくすると猫本来の好奇心を復活させ、部屋の隅々をくくんしながら散策し始めた。本棚の上に飛び乗る、壁の穴に入り込む、そのみならず、机の上の書類の山をがしががいわせたが崩れ始めるといった行状に及んだ。

こりや大変とばかり、四人が二匹を捕まえようと両手を広げて、きやーきやー騒いで追いかけて始めると、猫達はひらりびよんと身をかわす。餌で釣ろうとしても相手は逃げるだけだ。人間と猫の追いかけっこは延々と続いた。

ようやく猫達を捕まえた頃、窓の外は暗くなりかけ、図書館の時計はとうに六時半を過ぎていた。ケージの中の猫達と時計を交互に見つめ、みんな呆然とした面持ち。私の横にいた秘書のジーナが、息を切らしながら、ひとことつぶやいた。

「わたし、勤続七年目にして、初めて、残業したわ。」

(ノラ・ネコ)

## ◆マッドバス



グラフィトンのセントアン・スパで、ものは試しとマッドバス・コースをいうのをとつてみた。

マッドバス、文字通り泥風呂である。まず、スチームバスに入り、次にジャグジーのホットタブに移り、いい加減蒸されてゆで上がったところを冷水シャワーを浴び、最後に水着を脱いで泥風呂に入るわけである。大きめのバスタブ一杯にぬるぬるした粘土質の泥がさながらチヨコレート・クリームのようにならぬで溢れている。縁に両手をかけて、泥の中におもむろに背中から落ち込む形に入る。カチカチ山の狸の泥船の感じで沈んで行くが、泥の比重で浮いてくるので底まで沈む心配はない。係りの女性が顔と頭に泥を塗りたくってくれる。泥のメーカーキャップで識別が付かなくなったところで、ポロライドの記念撮影。

十五分くらい泥に浸かってから、引き上げて貰う。ホースで水をジャージャーかけて泥を落とし、コース終了。

泥風呂なんて・・・と思つていたが、ツルツルボカボカして「湯上がり」の気分は爽快だ。機会があったら、ぜひ、マッドバスをお試しください。泥はケベック州のどこかから来る特殊の泥だそうです。

(K・H)



# ザ・トルーマンショー



鳥の世界に「刷り込み」という習性がある。それは、卵から孵化（ふか）した時、最初に目にした動く物を、親として意識してしまうことらしい。

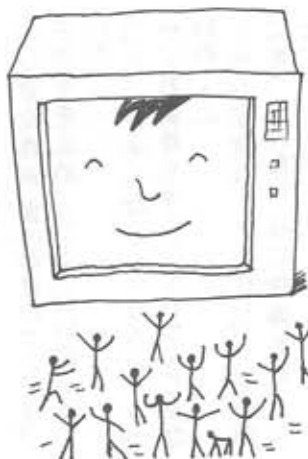
その習性を利用し、魚をとる。鵜飼のおじいさんの映像を見たことがある。中国の雄大な景色の田舎、豊かに流れる河を生活の場としている彼は、野生の鵜の卵を巣の中から失敬、それを自分の船の上で保温。孵化の時にになると家族の者を遠ざけ、自分ひとりになり世話をする。そうして成長した鵜はもうおじいさんから離れない、もうどこに行くにも後からついてくる。だから魚をとる時も、日本の鵜飼いのようにロープで一羽一羽をつなぐ必要がなく、彼らは自由に方々に泳ぎ散らばり魚をとってくる。

ま、この「刷り込み」という習性も人間側からの観察の末の憶測であるわけで、鳥の方からすれば「そんなに簡単に結論を出されてありがた迷惑、こちらにもいろいろ事情があるんですよ。ただそれらをうまく理論的に説明できないのが我々の限界でもあるのだが・・・」という事だっでありうる。鳥の世界に限らず、他の動物、犬や猫だつて程度の差こそあれ、そういった習性はあるような気が

がする。そして、はたと気がついた。もしかして、もしかして、人間こそ、最も刷り込まれやすい生き物なのかもしれない。

ここから映画。トルーマンは生まれた時にテレビ会社に材料として買われた男である。あるプロデューサーの企画によるテレビ番組「ザ・トルーマン・ショー」の主役である。

このライブショーは一日二十四時間、週七日、十二月、つまり一瞬間の休みもなく、トルーマンが生まれた時から続いていて、彼の成長、行動、出来事、眠りの時間、とにかくすべてが、ライブで全世界に流されている。そしてそれを見続けている聴衆は、すっかり感情移入してしまい、もう目が離せなくなっている。この番組、もう三十年間も続いている。トルーマンも三十才になつてい



ここで、どんなふうにして番組を作っているのかを説明する。トルーマンの生活している空間は、すべてスタジオの中なのである。その空間の中に彼の家があり、仕事をする会社があり、街があり、ハイウエーがあり、浜辺があり、海がある。さらに雨や風の天候までコントロールできる装置がある。巨大なスタジオの中なのである。そして、彼の両親をはじめ、親友、恋人、妻、幼い時からの顔見知りの近所の人達、会社の同僚、はては見知らぬ街の人々まで、すべて俳優達によって演じられている。その事実をトルーマンは知らない。

彼のこれまでの人生は、すべてプロデューサー、ディレクター達の作りあげた演出物なのだ。視聴者の興味をひくために、プロデューサーはいろんな仕掛けをトルーマンの身の上下に演出する。少年の頃に、嵐の海での事故による父との生き別れを経験させ、大人になつてからエモーショナルな再会を構成したりと、トルーマンにとっては迷惑この上ないのだけれど、なにせ彼はからくりを知らない、それが自分の人生だと思つてい

つまり、それらすべてを、スタジオの中に設置した五千台ものカメラレンズで隠し撮りし、コントロール室のモニター映像でチェック、そして全世界にオン・エアしているのである。

ある種の本などに、現在我々の住んでいる現実のこの世界にも宇宙の創造主がいて、人々の人生はすべて彼（彼女？それとも「ゴ」）の台本通り、なんて書いてある部分を見つ

けたりする事もあるけれど、トルーマンにとつては、このプロデューサーがそれにあたるわけだ。

考えようによつては、この地球そのものが巨大なスタジオと思えない事もない。大気圏という透明なガラスに覆われたスタジオ。そこにはトルーマンの住むスタジオと同じように、雨や風の天候がコントロールできる装置（？）もちゃんとあるのではないか。そして、この地球上の出来事をすべてカメラレンズでとらえ、スクリーンに映し出して楽しんでいるだけか……。

あれ？話はなんか八次元あたりまで広がってしまったみたいで、僕ら頭では説明ができなくなつてきたようだ。

「こんにちは赤ちゃん、私がママよ」の歌ではないけれど、誰だつて赤子の時にインプットされた情報はそのまま信じてしまうしか方法がないような気がする。そして少し大きくなつて、ある種の疑問を感じ、納得し、また大きくなって、疑問、納得と、そんなくり返しが、成長するという事なのかもしれない。

トルーマンは「今」何かがおかしいと感じはじめています。今までも沢山の疑問は感じたが、それなりに納得させられ、クリアして来た人生。だが今回はちよつと違う。今度こそ自分の判断で、もう、とことん行くしか方法がないみたいだった。そして……。

それにしても、最近の情報社会というキャッチフレーズのもとに、刷り込まれたがつている人々の、なんと多いことか。  
(イラストレーター)

彼女が

泣いた

理由



鈴木雄一朗

朝方から降り出した雨は次第に雨脚を強め、ようやく土から出てきたばかりのチューリップの新芽を容赦なく叩き、昼近くになっても鉛色の雲の下、アスファルトのあちらこちらに大きな水たまりをいくつも作り続けていた。空港の出発ゲートにあるカフエはそんな雨空を眺めながら、ゲートの開くのを待つ旅人たちで賑わっていた。

「注文は？」

若いウエイトレスに促されて、僕がコーヒーを頼んだとき、すぐ隣の席で甲高い声が耳に響いた。

「だって嫌なんだから！」

振り向くと、まだ五歳ぐらいとおぼしき女の子が足のつかない椅子に腰かけ、小さな体を前後に意味もなく揺すりながら、目の前のテーブルをじつと見つめていた。

「わがまま言わないのよ、スー」

どうやら赤いワンピースをきた彼女はスーという名らしい。母親とお

ぼしき女性が食べかけのサンドイッチの手を止め、スーに言い聞かせていた。

「どうしてそんなことを言うの？ せつかくお祖母ちゃんがくれたんじやないの……」

彼女が言うときスーはじつと目の前に座っていた祖母に視線を動かした。

品の良さそうなその祖母は七十の年を少し越えたほどの風貌で、これから旅立つ様子。椅子の横には小さなページジュの旅行鞆が置いてあった。彼女は孫に目を合わせると、笑顔で答えたが、その目は少し困惑しているようだった。「まあスーが言うなら

しょうがないねえ……」彼女はゆつくりした口調で言つて目の前に置かれたビニール製とおぼしき黄色いアヒルのおもちゃに視線を落とした。

「あたしがネエ……もうちよつと気の利いたものを買つてきてあげればよかったのねえ」

「いいんですよお母さま……」と母親が少し早口と言つた。「この子がわがままだからいけないんです。気にな

さないでください」

「でもねえ……気に入らないならねえ……」

「お母さま。本当に気になさらないで……この子、物心ついたころから人見知りです……今回は生まれて初めてお母さまに逢つたんですもの……そのうちになれますわ……」

弁解するかのようには母親は言つていたが、祖母の顔はしんみりとするばかりだった。スーはテーブルに置かれたそのアヒルくんをじつと見つめ、頬はまだふくれたままだった。「そう

かねえ……そうだといいんだけども」

「そうですね……この子、ほんとうはお母さまと別れるの辛く思つていますわ……」

母親は言葉を続けていたけれども、どう見てもスーという子はむすりと駄々をこねて、ただ頭の中は目の前の気に入らないアヒルくんだけ

といったようにしか見えない。

「私ねえ……もうちよつといいもの買ってあげればよかったのねえ……スーや今度はもつといいものをおみやげに持つてきてあげるからね……ごめんねえ……」よほどスーという子はアヒルくんが気に入らなかつたらしい。祖母が話しかけても何も言葉を

出そうとしなかつた。

「お母さま……そろそろ飛行機の間ですわ」

その場の気まずさが耐えられなかつたのか、母親は食べかけのサンドイッチをそのまま、気難しがり娘を席から立たせ、老婆をゲートまで見送ると言い出していった。

その間、ずっと祖母は悲しそうな顔をし、ちよつとすれば泣き出してしまうのではないか……といった面持ちで静かに立ち上がると、片手に鞆を持ち、ゲートの方へ体を向けた。

スーはちよつと戸惑つてからテーブルの上のアヒルくんを手にすると、母親になかば引きつられていたのでは

ないかというぐらゐの勢いで手を引っ張られると、祖母の後ろについてゲートに向かつた。

搭乗口はすでに開いていて、何人かの乗客が列を作つていた。

祖母は孫の方へ体を向けると、ゆ

つくりとしゃがみ込み、笑顔で言つた。

「ほんとうにごめんさいねえ……気に入らないものを持つてきたりなんかして……じゃこれはお祖母ちゃんが預かつておくから今度来るときはちがうものを持つてきてあげましょ……」

彼女は言うとき、スーの腕の中からアヒルくんを取り上げ、鞆の中にしま

い込み、スーと母親に短い別れの言葉を告げ、ゲートの中に姿を消して行つた。

生意気な子ではないか……と僕はカフエのカウンターから彼らを眺め、コーヒーをすすりながら思つた。お祖母ちゃんが可哀相ではないか。きつと彼女はどこか遠い田舎にひとり

で住んでいて、そう、きつと数年前に夫に先立たれ、ひとりであるのだ。

その片田舎から孫に会いにやつて来たのだ。そして多分、今日まで孫にいろいろしてやつたのだろう。散歩にも行つただろうし、買い物にも、お祖母ちゃん得意の料理も孫のために作つたのかもしれないのに……ま

ったく何という子だ……大体がして近ごろの子は……

と爺臭い言葉を胸の中にフツフツと沸き上がらせていたとき、ゲートの側から泣き声が轟いた。スーだった。

隣に立つていた母親は突然のことに驚いた表情をして、スーの傍らに跪くと、娘の肩に手をやりながら言

つた。

「そう、やつぱりお祖母ちゃんと別れるのが辛いね……ほんとうはそうなのね……」

今度は母親もしずしずと泣き出し



# ザ・トルーマンショー



鳥の世界に「刷り込み」という習性がある。それは、卵から孵化（ふか）した時、最初に目にした動く物を、親として意識してしまうことらしい。

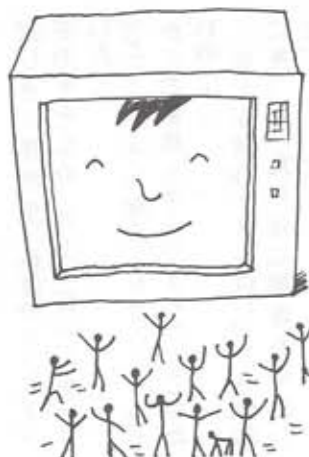
その習性を利用し、魚をとる。鵜飼のおじいさんの映像を見たことがある。中国の雄大な景色の田舎、豊かに流れる河を生活の場としている彼は、野生の鵜の卵を巢の中から失敬、それを自分の船の上で保温。孵化の時には家族の者を遠ざけ、自分ひとりになり世話をする。そうして成長した鵜はもうおじいさんから離れない、もうどこに行くにも後からついてくる。だから魚をとる時も、日本の鵜飼いのようにロープで一羽一羽をつなぐ必要がなく、彼らは自由に方々に泳ぎ散らばり魚をとってくる。

ま、この「刷り込み」という習性も人間側からの観察の末の臆測であるわけで、鳥の方からすれば「そんなに簡単に結論を出されてありがた迷惑、こちらにもいろいろ事情があるんですよ。ただそれらをうまく理論的に説明できないのが我々の限界でもあるのだが・・・」という事だでありうる。鳥の世界に限らず、他の動物、犬や猫だって程度の差こそあれ、そういった習性はあるような気が

がする。そして、はたと気がついた。もしかして、もしかして、人間こそ、最も刷り込まれやすい生き物なのかもしれない。

ここから映画。トルーマンは生まれた時にテレビ会社に材料として買われた男である。あるプロデューサーの企画によるテレビ番組「ザ・トルーマン・ショー」の主役である。

このライブショーは一日二十四時間、週七日、十二ヶ月、つまり一瞬間の休みもなく、トルーマンが生まれた時から続いていて、彼の成長、行動、出来事、眠りの時間、とにかくすべてが、ライブで全世界に流されている。そしてそれを見続けている聴衆は、すっかり感情移入してしまい、もう目が離せなくなっている。この番組、もう三十年間も続いている。トルーマンも三十才になっ



ここで、どんなふうにして番組を作っているのかを説明する。トルーマンの生活している空間は、すべてスタジオの中なのである。その空間の中に彼の家があり、仕事をする会社があり、街があり、ハイウエーがあり、浜辺があり、海がある。さらに雨や風の天候までコントロールできる装置がある。巨大なスタジオの中なのである。そして、彼の両親をはじめ、親友、恋人、妻、幼い時からの顔見知りの近所の人達、会社の同僚、はては見知らぬ街の人々まで、すべて俳優達によって演じられている。その事実をトルーマンは知らない。

彼のこれまでの人生は、すべてプロデューサー、ディレクター達の作りあげた演出物なのだ。視聴者の興味をひくために、プロデューサーはいろんな仕掛けをトルーマンの身の上で演出する。少年の頃に、嵐の海での事故による父との生き別れを経験させ、大人になってからエモーショナルな再会を構成したりと、トルーマンにとつては迷惑この上ないのだけれど、なにせ彼はからくりを知らない、それが自分の人生だと思っ

つまり、それらすべてを、スタジオの中に設置した五千台ものカメラレンズで隠し撮りし、コントロール室のモニター映像でチェック、そして全世界にオン・エアしているのである。

ある種の本などに、現在我々の住んでいる現実のこの世界にも宇宙の創造主がいて、人々の人生はすべて彼（彼女？それとも「ゴ」）の台本通り、なんて書いてある部分を見つ

けたりする事もあるけれど、トルーマンにとつては、このプロデューサーがそれにあたるわけだ。

考えようによっては、この地球そのものが巨大なスタジオと思えない事もない。大気圏という透明なガラスに覆われたスタジオ。そこにはトルーマンの住むスタジオと同じように、雨や風の天候がコントロールできる装置（？）もちゃんとあるのではない。そして、この地球上の出来事をすべてカメラレンズでとらえ、スクリーンに映し出して楽しんでいるだけか……。

あれ？話はなんか八次元あたりまで広がってしまったみたいで、僕ら頭では説明ができなくなってきたようだ。

「こんにちは赤ちゃん、私がママよ」の歌ではないけれど、誰だつて赤子の時にインプットされた情報はそのままだま信じてしまうしか方法がないような気がする。そして少し大きくなつて、ある種の疑問を感じ、納得し、また大きくなって、疑問、納得と、そんなくり返しが、成長するという事なのかもしれない。

トルーマンは「今」何かがおかしいと感じはじめています。今までも沢山の疑問は感じたが、それなりに納得させられ、クリアして来た人生。だが今回はちよつと違う。今度こそ自分の判断で、もう、とことん行くしか方法がないみたいだった。そして……。

それにしても、最近の情報社会というキャッチフレーズのもとに、刷り込まれたがつている人々の、なんと多いことか。  
(イラストレーター)



彼女が

泣いた

理由

鈴木雄一朗

朝方から降り出した雨は次第に雨脚を強め、ようやく土から出てきたばかりのチューリップの新芽を容赦なく叩き、昼近くになっても鉛色の雲の下、アスファルトのあちらこちらに大きな水たまりをいくつも作り続けていた。空港の出発ゲートにあるカフェはそんな雨空を眺めながら、ゲートの開くのを待つ旅人たちが賑わっていた。

「注文は？」

若いウェイトレスに促されて、僕がコーヒを頼んだとき、すぐ隣の席で甲高い声が耳に響いた。

「だって嫌なんだから！」

振り向くと、まだ五歳ぐらいとおぼしき女の子が足のつかない椅子に腰かけ、小さな体を前後に意味もなく揺すりながら、目の前のテーブルをじっと見つめていた。

「わがまま言わないのよ、スー」

どうやら赤いワンピースをきた彼女はスーという名らしい。母親とお

ぼしき女性が、食べかけのサンドイッチの手を止め、スーに言い聞かせていた。

「どうしてそんなことを言うの？ せつかくお祖母ちゃんがくれたんじゃないの……」

彼女が言うときスーはじつと目の前に座っていた祖母に視線を動かした。

品の良さそうなその祖母は七十の年を少し越えたほどの風貌で、これから旅立つ様子。椅子の横には小さなページジュの旅行鞆が置いてあった。彼女は孫に目を合わせると、笑顔で答えたが、その目は少し困惑しているようだった。「まあスーが言うならしょうがないねえ……」彼女はゆっくりにした口調で言つて目の前に置かれたビニール製とおぼしき黄色いアヒルのおもちゃに視線を落とした。

「あたしがネエ……もうちょっと気の良いものを買つてきてあげればよかったのにねえ」

「いいんですよお母さま……」と母親が少し早口に言った。「この子がわがままだからいけないんです。気になさらないでください」

「でもねえ……気に入らないならねえ……」

「お母さま。本当に気になさらないで……この子、物心ついたころから人見知りで……今回は生まれて初めてお母さまに逢つたんですもの……そのうちになれますわ……」

弁解するかのようには母親は言つていたが、祖母の顔はしんみりとするばかりだった。スーはテーブルに置かれたそのアヒルくんをじつと見つめ、頬はまだふくれたままだった。「そう

かねえ……そうだといいんだけども」

「そうですね……この子、ほんとうはお母さまと別れるの辛く思つていますわ……」

母親は言葉を続けていたけれども、どう見てもスーという子はむすりと駄々をこねて、ただ頭の中は目の前の気に入らないアヒルくんだけ……といったようにしか見えない。

「私ねえ……もうちょっといいもの買ってあげればよかったのにねえ……スーや今度はもっといいものをおみやげに持つてきてあげるからね……ごめんねえ……」よほどスーという子はアヒルくんが気に入らなかつたらしい。祖母が話しかけても何も言葉を出さずとしなかつた。

「お母さま……そろそろ飛行機の間ですわ」

その場の気まずさが耐えられなかつたのか、母親は食べかけのサンドイッチをそのまま、気難しがり娘を席から立たせ、老婆をゲートまで見送ると言い出していった。

その間、ずっと祖母は悲しそうな顔を、ちよつとすれば泣き出ししてしまうのではないか……といった面持ちで静かに立ち上がると、片手に鞆を持ち、ゲートの方へ体を向けた。

スーはちよつと戸惑つてからテーブルの上のアヒルくんを手にすると、母親になかば引きつられていたのではないかというぐらゐの勢いで手を引っ張られると、祖母の後ろについてゲートに向かった。

搭乗口はすでに開いていて、何人かの乗客が列を作つていた。

祖母は孫の方へ体を向けると、ゆ

つくりとしやがみ込み、笑顔で言つた。

「ほんとうにごめんさいねえ……気に入らないものを持つてきたりなんかして……じゃこれはお祖母ちゃんが預かつておくから今度来るときはちがうものを持つてきてあげましよう……」

彼女は言うとき、スーの腕の中からアヒルくんを取り上げ、鞆の中にしま

い込み、スーと母親に短い別れの言葉を告げ、ゲートの中に姿を消して行つた。

生意気な子ではないか……と僕はカフェのカウンターから彼らを眺め、コーヒをすすりながら思つた。お祖母ちゃんが可哀相ではないか。きつと彼女はどこか遠い田舎にひとり

で住んでいて、そう、きつと数年前に夫に先立たれ、ひとりであるのだ。

その片田舎から孫に会いにやつて来たのだ。そして多分、今日まで孫にいろいろしてやつたのだろう。散歩にも行つただろうし、買い物にも、お祖母ちゃん得意の料理も孫のために作つたのかもしれないに……まತ್ತたく何という子だ……大体がして近ごろの子は……

と爺臭い言葉を胸の中にフツフツと沸き上がらせていたとき、ゲートの側から泣き声が轟いた。スーだった。

隣に立つていた母親は突然のことに驚いた表情をして、スーの傍らに跪くと、娘の肩に手をやりながら言つた。

「そう、やつぱりお祖母ちゃんと別れるのが辛いね……ほんとうはそうなのね……」

今度は母親もしずしずと泣き出し

た。

「わがまま言わないのよ、スー」

どうやら赤いワンピースをきた彼女はスーという名らしい。母親とお

「プレゼントは、この部屋の中にあ  
ります。探して下さい。」

母の日の朝、集まった長女夫婦と  
次女がちよつときどつてあらたまつて  
言った。

「子供みたいに宝探し？」と思  
いながら、ぐるつと部屋を見まわし、  
はつと目がとまった。小さな本当に  
小さな、直径が二十センチにもみた  
ないアンティークのバイクラフトテ  
ーブルがちょこんと片隅に置かれてあ  
った。見覚えのあるそのテーブルに、  
懐かしいものに出会つたようなあた  
たかさをおぼえながらしばらく言葉  
が出なかった。

だいぶ前、それはスウーリーのア  
ンティークショップで見かけたものだ  
った。ワインテーブルと書かれてあつ  
たから、おそらく、昔、ワインバスケ  
ットを載せたものかも知れない。そ  
れにしては、きゃしゃで繊細すぎる。  
私なら飲みかけのワイングラスをち  
よつと載せるか、コーヒーカーップを  
一つ置くのに使いたいと、ずい分長  
いこと眺めていて、結局あきらめた  
テーブルだった。脚が一つ壊れてい  
たし、リフイニッシュすると言われた  
けれど、これをスウーリーのはずれ、  
ほとんどアメリカとの国境に近い場  
所まで又、引き取りに行くのは私に  
はとても大変なことのよう思われ  
たから。その後、しばらくの間、やは  
り気になっていたが、次第に心の遠  
くへ消えていった小さな小さなテ  
ーブル。それが今、目の前に置かれて  
ある。きれいにみがかれて、マホガニ

ーの木目が見違えるように美しい。  
私の驚きに、子供達三人の目が  
笑っていた。

「ありがとう。」それしか言えなかつ  
た。夫を亡くした後ののはじめての母

ていると、夫の母から手紙が届い  
た。先日ささやかながら母の日のプ  
レゼントをカードに添えて送つたの  
で、ただそれが届いたという知らせ  
だろうと思ひながら封を切った。大

ゆきか  
想いの中づ



## ■ 母の日

長井東美

の日。いろいろ気を使ってくれている  
子供達の想いがうれしかった。

翌朝、早速、コーヒーカーップをそ  
のテーブルの上に載せ、新聞を開い

した物を送ったわけではないし、毎  
年してきたことなのに、年若い義  
母は殊の外、喜んでくれたらしく、  
こちらが驚くほどこまごまとそのう  
れしさを伝えてきた。

た。

遠目で彼らを眺めつつ、僕はその  
時、自分の心の中にあつたくだらな  
い思いを拭った。

そうなのだ、ほんとうはいい子な  
のだ。ただ恥ずかしいからああいつ  
た態度をとつただけなのだ。ああ、  
やっぱり自分には人を見る目という  
ものが……

ひとしきり泣き続けたスーが大声  
で言った。

「あたしのアヒルくん持つてっちゃつ  
たあ！」

……

「あの子が亡き後もまだ母の日に、  
あなたからお母様と呼ばれることが  
いかにうれしかわかつていただけま  
すか。こんな喜びは又とないこと  
ですよ。本当に心あたたまる思いでし  
た。いただいたバッグ、何度も何度  
も下げてみました。」九十三才にな  
る義母は少しふるえてはいるがしつ  
かりとした字で「ありがとう」をくり  
返していた。そして、

「あの子のこと、思い出の中でどう  
ぞ、どうぞいつまでも可愛がつてやっ  
て下さい。」と結んであった。「可愛  
がる」という言葉に一瞬とまどいを  
感じたけれど、九十三才の母親の心  
の中で、五十八才で死んだ息子は、  
また幼な子にもどつてゐるのかわし  
れない。

(題字 杉山園子)

## 不老長寿の薬を探して (その三)

### 野菜をもっと食べよう



後藤 順子

最近、日本の親戚やカナダに住む友人達の中に高コレステロールや高血圧症で、薬を飲み始めたという話をよく聞く様になった。中には、夫婦揃って同じ病気という家庭も多いのである。家族で同じ成人病と聞くと原因は食事の内容ではないかと、だれでも察する所である。病気になるれば医者薬を処方してもらい、薬を飲めばいいというのでは、あまりにも、短絡すぎるのではないか。薬には必ず副作用があるし、長期の服用は出来るだけ避けて欲しいと思つて、つい余計なこととは思いつつも、食事療法のコピーなどを送つてしまつたのである。

最近、日常食べている野菜や果物が、ガンや心臓病を含む成人病を予防し、更年期障害の症状軽減するものとして、食物科学者や医療関係者の中で注目を浴びるようになったという記事を見つけたので紹介する。

植物に含まれるたくさんの成分は、生理学的な活性を体内で高めるといふことが分かり、従来から良く知られる、ビタミン類、ミネラル、

脂肪酸、アミノ酸以外にも、たくさんの成分が健康促進のために有効であることが知られ始めた。これらは、心臓病や糖尿病や高血圧症やガンの予防が含まれる。どのような野菜や果物にこの様な作用があるのか、次に紹介しよう。

#### ◇十字花科野菜



ブロッコリ、カリフラワ、キャベツ等。主な植物有効成分はインドールとサルフォラ・フェンである。インドールは女性ホルモンであるエストロゲンの代謝を助ける。依つて、乳ガンや卵巣ガンの予防に有効である。サルフォラ・フェンは発ガン物質によるDNAの障害を阻止する働きがある。又、これらの野菜を日常食べることににより、胃ガンや直腸ガンのリスクを低くする。

#### ◇大豆



主な植物性の有効成分はエストロゲンの構造に似ているといふことが知られている。これらは、イソ・フラボノ

イドとリグナンである。大豆には、たくさんのイソ・フラボノイドが含まれている。これは、乳ガンの予防や前立腺ガンの予防に有効である。又骨瘦症や心臓病のリスクを下げ、更年期障害症状の緩和作用がある。

#### ◇ニンニク



ニンニク、タマネギ、リーク等。有効成分はアリル・サルフェイドである。これらの成分は、心臓血管の健康とコレステロールを正常値に保つ作用がある。また、胃ガンや直腸ガンのリスクを下げる。コレステロール値の高い方、たくさんニンニクを食べて下さい。

#### ◇日本茶



日本茶はたくさんのポリ・フェノールを含む。これは、アンチ・オキシデントの強力な作用があり、老化防止の作用で知られている。又、胃ガンのリスクを下げることも知られている。

#### ◇トマト



有効成分はカルテノイドとリコペンが豊富に含まれている。トマトは、消化器系のガンのリスクを半分以下に下げるといふ報告がガンの医学雑誌で紹介されている。

#### ◇人参



人参の有名な有効成分はベータカロチンである。これは、肺ガンの予防作用があることが知られている。又アルファ・カロチンは黄色やオレンジ色の果物や野菜に多く含まれているが、ベータ・カロチンと同様にビタミンAを作る成分である。ビタミンAは、免疫促進効果がある。

#### ◇青菜



ほうれん草、バセリ、ケール等。有効成分はルチンとゼアキサントチンである。これらは、老人性の視力障害を防ぐ作用がある事が、アメリカの医学誌で紹介されている。

ここに紹介された野菜や果物は、特別なものはあまりない。私が子供の頃には、いつものおかずの材料としてよく使われて、あまり好きではないうが、好き嫌いは許されていなかったので、しかたなく食べていたものばかりである。最近の日本人は贅沢になつて、このような、ありきたりの野菜を、日常、あまり食べなくなつてしまつたのだろうか。



ダンサーという職業柄、頭のとつぱんから爪先まで、自己管理がいつも念頭にあります。口から入るもの、食べるものが、この肉体を作るひとつひとつの細胞になるのだし、見るもの聴くもの触れるものが、細やかな表現力につながりますから、舞台上立つ以上、人の視線を引きつけなければならぬわけで、皆、色々努力するんですよ。

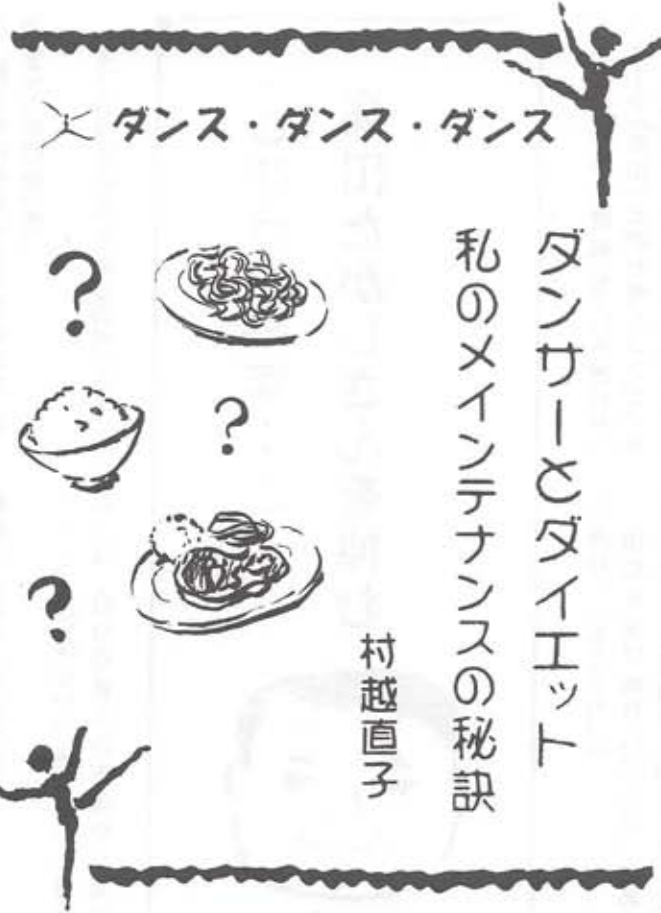
技術的なもののメインテナンスはもちろんです。仕事時間の合間や、仕事が終わってから等、各自時間を見つけて、自分に合った筋肉トレーニング、ストレッチ等をしていますし、ヨガや空手のクラスに通っている人もいます。

一般の方からよく聞かれるのが、「ダンサーはあんまり食べちゃいけないでしょ。」とか、「ダンサーは食べても太らないの?」とかダイエットに関することです。極端なダイエットをしながら、プロとして踊って行くには限度があり、無理だと思えます。けれども、何をどう食べるかは、皆それぞれ気を使っています。人によつては菜食主義であったり、ステーキを食べないと力が出ないよ、という人がいたり、個人差があります。いつの間にか自分に合った食べ方が出来ているようです。

私の場合は、いろんな食経歴を経て、乳製品は胃に負担がかかるので、疲れているときは食べませんが、通常は何でも食べられるよい子です。甘いものも肉体が疲労すると要求するので、無理に我慢したりしません。中学生の頃、東京の先生の所に泊まり込

みでお稽古をしていた時のことです。元バレリーナの奥様が食事に気を使つてくださるわけです。ご飯粒は日本人体型を作るからよくないと云う理由で、主食はパンやパスタだったので、朝はトーストにマヨネーズたっぷり、朝はトーストにマヨネーズたっぷりのコールスローサラダを上にのせたもの。美味しかったなあ。昼にはチーズたっぷりかかったスパゲティとかで。

カンパニーの友達にすると、大変受けました。ご飯と味噌汁の食事は最高の食事と信じている人達です。その逆をやっていた私が可笑しいのではありません。私のまわりの踊り手達はみんな、よく飲みよく食べるので気持ちよいです。あまり神経質にならないで、おおらかに食べて、わあ、と発散するのが心身に一番よいようです。



## ダンス・ダンス・ダンス

### ダンサーとダイエット

#### 私のメインテナンスの秘訣

村越直子

夜には、ご飯抜きのおかずだけの日本食だったり、いろいろ考えてくださつてました。それ以来、家に帰ってからも、好んでご飯を食べることはなかつたのですが、やはり日本人、今の私はご飯なしではつらいです。西洋人

型にするには、食生活と椅子の暮らしというものは、もつともで、説得力のあるアドバイスでしたけど。この話を

メインテナンスとして、マッサージ、カイロプラクティス、フィジオセラピーなどに通い、けがの予防、早期治療には細かく気を使います。毎日手軽に出来る、コストが安い、私の最大の武器はお風呂。お風呂で全身を暖め、筋肉をほぐして、疲れた神経もゆつたりのおんびりお湯につかって癒し

ます。特に筋肉痛のひどい時、ハードな踊りを練習しているときは、アプセソルトという塩をどつさり入れて。とつてもよく効きます。お試しあれ。それと、アーニカというハーブの薬を足腰にすりこんで眠ります。

おしゃれはどうでしょう? 普段、稽古で一日中過ごすことがほとんどで、限られたことだけですが、髪の毛の結い方、色のコーディネートなど工夫しますね。普段の振る舞いが野暮ったかつたりすると、やはり舞台でも出てしまふ気がしますので、注意したいと思つています。(現実にはうまくいかなくなくて・・・エレガントな立ち居振る舞い、したいんだけど。)化粧は舞台のメイクはいろいろ研究しています。汗をかいたので、あまりカバリーしたくないのです。ただ、公演が長く続き、毎晩舞台に出ている時なんかは、肌は乾燥するし、よい状態をキープするのに苦心します。最近、パリに行つてきました。見られている意識が常に素敵でした。見られている意識が常に素敵なのか? 堂々と自分を演出している素晴らしい。誰もが女優かダンサーに見えるほど、ちよつとした仕草が粋で、セクシー。これつてきつと、熱い視線で鑑賞している男性のおかげでしょうね。パリエンヌにはなれませんが、まだまだ舞台で踊りたいから、日夜自分に磨きをかけなあきまへんな。内側から、外側まで。(トロント・ダンスシアター団員)

岩田トラベルの武田峻さんが五月八日夜亡くなった。予期していたとはいえ、あまりにも早い死であった。その夜遅くビジネス・パートナーだった宮原さんからお知らせを受け、がく然とした。

武田さんと知り合ったのは、ジャーナルがクイーン・ストリート・ウエストの洋生地屋の二階にあった元のニューカナディアン紙の一室を間借りしていた頃ではないかと思う。かれこれ二十年前である。ニューカナディアン故梅月さんか森さんの所へ訪ねてきた武田さんを紹介されたのであろう。

しかし本当は、日本でも顔を付き合せていたはずなのである。というのは後年、カナダへ来る前、文化放送で二年間娯楽芸能番組のプロデューサーをしていたという話を彼から聞いたからである。当時私は文化放送で友人がプロデューサーをしていたポピュラー音楽番組の台本をアルバイトに書いていた。聴取者が投票で決めるベストテン番組で、週一回放送のある日、勤めが終わってから局へ出かけていた。そのポピュラー音楽課の隣が娯楽芸能班で、局の人達が「色もの」と呼ぶ落語、漫才、歌謡曲などを扱うセクションだった。そこで武田さんは色ものプロデューサーをやっていたのである。話してみると、共通の知人が何人も出てきたから、おそらく会っているはずなのだが、お互い認識は全くない。局には現東京都知事をはじめ大勢の人が出入りしていたから当然かもしれない。そのうち友人は局を辞めてフリーランスになり、私も本職が忙しくなり、アルバイトを辞めた。

「こういうものを書いたけど、読んでみてくれない？」

ある日、武田さんからコピーの束を渡された。それは「ライラック何とか・・・」という題の新聞懸賞小説であった。局を辞めてカナダへ来て、ノバスコシア辺りを放浪していた頃をテーマにしたもので、ちよつと甘いナと思っただけで、よく書いていたので、「面白かったわ。」とほめたら、「うん」と云った。彼がものを書くことが好きな人であることがわかった。

オーロラに高田たかしのペンネーム

## 「さすらい中年・・・」 高田たかしさんを悼む



とは大変な業で、しかも単なるユーモア旅行記以上のうんちくがそこはかとなく隠されているのである。最初の原稿に「さすらい中年・・・」と付いたら、彼はそのタイトルが気に入ったらしく、旅もの以外にもいつもそのタイトルを付けてきた。カナダへ移民で来たことはさすらいの延長なのか、脱出なのか・・・。少なくとも彼の場合は生活環境や住宅事情といった実利的な動機でないことは確かだ。

「こつちに住んでつまらないと思うことは、自分が社会の主流から完全

で七本の原稿を寄稿していただいた。

シエーン(武田)と眠り男のコンビでおなじみの「さすらい中年二人旅」シリーズの「トロントからニューオリンズへ」(第2号)、「モンタナへビッグスカイを求めて」(第5号)、「さすらい中年北京に行く」(第9号)、「アラモの砦」(第18号)、「さすらい中年ヒーロー伝」の「ジエームス・ディーンを探して」(第14号)、「同世代の兄貴、石原裕次郎」(第16号)、「それと、グムメぐるぐる」(第16号)の巻(第13号)である。どれを読み返しても、皆面白い。面白く読ませると言うこ

に外れていることね。」

切符を受け取りに立ち寄ったある時、ポツリと武田さんが言ったことがある。移民の話をしてたのか、政治の話をしてたのか、何の話をしてたのか全然覚えていないが、何で彼が突然そんなことを言い出したのか、理解できなかった。そこで、「大体、カナダに主流などあると思うの？」と混ぜ返した。肩の力をまったく抜いて、柳に風と茫洋と、世捨て人のような風貌で生きていた武田さんが本心では何を考えていたのか、もつと聞いてみるべきだった、と後悔した。

五月十二日にセントクレア・ウエストの霊園でご家族と親しい人だけが集まった内輪のメモリアル・サービスが行われた。初夏の気持ちよく晴れた日で、私達は厳肅な中にも明るい気持ちで武田さんと別れを告げた。私達は「眠り男」が誰であるのかも確認した。帰途、野尻さんと霊園の斜め向かい側にイタリアン・スタイルのホームメイド・アイスクリーム店を見つけて、立ち寄った。

五月最後の日の夜、葬儀が仏教会であった。セレモニーの後のお茶の会で、ボードに飾られた武田さんのアルバムを見ながら画家の山本博さんと「武田さんで、どんな人だったのだろう？」と話した。「あんなストレスが全然なさそうな人がガンにかかるなんて・・・」と言うと、「彼は繊細な人だったと思う。」と山本さんが言った。たぶんそうだったのだろう。他人の心のひだの奥まではのぞけないし、誰にも本当のことはわからないのだ。

夏休み前、どこかへ行こうかな、というくらいの漠然とした気持ちで通りがかりにクイーン・ストリート・ウエストの建物の二階の岩田トラベルへ上がっていく。そうすると、商売上手の宮原さんがテキパキと忽ち格安航空券とデスクインナーションを決めてくれて、階段を下りる時には、もう出発日時も行く先も最初の宿も決まり、チケットも持っているのである。宮原さんがいなければ、私のような実行力のない人間は旅にも出られないのである。クイーン・ストリート・ウエストの角を通るたびに岩田トラベルと武田さんを憶い出す。

(K・H)

『猫たちの隠された生活』

エリザベス・M・トーマス著

木村博江訳

森貞一弘

僕は猫が嫌いである。思いつくままに列記しても「化け猫」「猫かぶり」など、さほどいいイメージがない。(ちなみに英語では「犬かぶり」となっているのだが...)それに加え「猫の手も借りたい」などという風にとどやら人間の生活上、あまり役に立たない(あてに出来ない)ベツトという感がする。唯一、商売人の街、大阪で育った僕が思い出せる良いイメージを持った猫は「招き猫」くらいである。(といっても「猫に小判」という言葉には相反するようににも感じるのだが...)



はてさて、こんな猫嫌いに、しかも読書嫌いの僕が、この本の書評を書くはめになってしまった。愛猫家からの批判を避けるためにも、又、(実は愛犬家なのだが)公平な立場だと証明するためにも、ここで正直に白状しよう。実は愛犬家の妻と結婚するまで猫と結構仲良くしていた。コーン・フレックの虎にちなんでトニーと呼んでいたのだが、非常に存在感のない猫だった。ちなみにその時「アルバーター州の猫は魚じゃなくて牛肉を好む」事を新発見した。

ところで著者エリザベス・M・トーマスは実はこの本の前作として「犬たちの隠された生活」という題で全米ベストセラーを記録している。「はあく、今度は愛猫家を狙っているな」と一瞬、ビジネス・センスが脳裏を掠めると同時に、著者を「裏切り者」と感じてしまった。それでも公平な立場を維持しつつ一気に読み上げてしまった。

著者は英文学や人類学を専攻したと紹介されているが、実際にはもつと泥臭い(野生のエルザ調の)動物学者とでも呼んだ方が妥当だろう。邦題で「猫」となっているが、家猫よりも実際にアフリカ等での観察体験をもとにライオンや虎などの大猫に関する記事が多い。生存競争の激しい野生の世界で(まあ、文明社会でも同じように厳しいのだが)雄の運命は如何に...などと書いている章では、ああ人間に生まれて良かったと感謝してしまつた。(やはり猫は残酷である。)

非常に面白いのは飼猫の歴史として農家の話が紹介されている。その中で「猫は犬のように飼い慣らされたのではなく、人間の生活に自ら忍び寄って自分達に有利な環境(ネズミなどの小動物が住居としていた穀物倉庫)に馴染んだ。」と記されている。「そんな理由で農家にとつても、侵入者である猫に対して、そう悪い気もせず黙認していた。」という部分には納得してしまつた。

もう二十年近く前に「なめ猫」というのが日本で流行した。この本を読めば、あの発想はまんざら冗談ではない気がしてきた。実際に猫はマスター(主人)は猫自身で飼いは味方か、よくても仲間ぐらいにして感じているようだ。

さあ!この本を参考書として、猫をもっと理解して飼い猫になめられない様に、もっと彼らを研究しましょう。

(草思社、千八百四十五円)

**OCS**  
OVERSEA COURIER  
SERVICE

海外新聞普及株式会社

日経・朝日・読売新聞国際衛星版を同日配達いたします

新聞・雑誌・書籍の御注文はOCSへ

Toronto

480 Carlingview Dr, Rexdale, Ontario M9W 6M8  
Tel:(416) 675-9061, 9063

Vancouver

3600 Viking Way, Unit 250, Richmond, B.C. V6V 6M8  
Tel:(604) 270-1139

# 編集室から



★一ヶ月前にはあれほど話題になった「タイタニック」のことをもう口にする人がいなくなつた。この頃の世の中のはやりすたりの速さ、すべてのフェノメノが一過性である。情報手段は益々増え、地球の回転よりも早くなりつつある。グローバリゼーションでその速度に更にいっそう拍車がかかっている。週末の午後、強制的に呼び出されて、最後のレイアウト、切り張りをやらされた。外は快晴、一人はサイクリングに行かれず、一人はサッカー、ワールド・カップの三位決定戦が見られず大むくれ。手作り雑誌は大変だなあ。(N・T)

★十月にモントリオールの日本庭園、日本館で個展を開くことが決まり、久しぶりにモントリオールを訪れた。ひと頃に比べてモントリオールの街は活気がなく、街路樹にも一月の

アイスストームの被害の痛手が残っている。それでも一足、美術館の中に入ると、鑑賞者が大勢いて、アートに関する関心の高さがうかがわれた。本屋には日本で人気があるアニメ「コナン」がすでにフランス語で出版されていて、結構売れ行きもよいという。この街のアート、文化に対する態度の高さを感じた。(H・Y)

★元ホンダ・カナダ・マニファクチャリング社長をして引退された早野さんが、カナダが気に入って引退なさってからもずっとアリソンに住んでいらつしやると、去年F&Pへ取材に行つた時、小島社長からうかがった。昨年の暮れにオーロラの取材でお電話をすると、広い農場で奥様は花作り、ご主人は野菜作りをしていらつしやるとのこと、カナダで悠々自適の生活のご様子を見聞、紹介させていただきたく、この度杉山さんと一緒に

うかがいました。農地と林が続くなどらかな丘陵地帯の農場で、五匹の犬と一匹の猫に囲まれてのどかな暮らし。ご夫妻はちょうどプリンス・エドワード島の旅行から帰ってらしたところで、「赤毛のアン」のことは何も知らないけど、よかつたヨ、あの島は」と採り立てのわらびのおひたしをご馳走になりながら、楽しいお話を沢山うかがった。

★「東京裏通信」でいつもアップデイトなトビックスを提供してくださる尼子三矢子さんのご夫妻がお友達と懐旧旅行でカナダにいらつしやった。オーロラにあるさる豪邸で一タ、尼子さん達を囲むパーティがあり、私達もお招きを受けた。ウエッジストーン・セージやロイヤル・コペンハーゲン・ダブルレールの食器で焼き肉や大福の美味しい食事やデザートをいただき、スキースロープのような広い裏庭を眺めながら、温水プールサイドで夜遅くまで歓談した。ゴージャズなホスピタリティと雰囲気はコーフンして、私達は帰りにハイウエーへ出る道を間違え、反対方向に走ったのである。

★秋風が立たないうちに夏号を出さなければと気はあせるものの、今号も予定より一カ月遅れてしまつた。ともかくお手元にお届けできてひと安心です。

★日本からご購読の小切手送金手数料が高くてご迷惑をおかけいたします。近日中午に日本に口座を開き、日本円払いにいたしますので、ご了承ください。

(K・H)

**HELLO JAPAN**  
 Citytv channel 57  
 Cable 7  
 EVERY SUNDAY 8:30~9:00AM.

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP  
**SANKO**  
 730 QUEEN ST. W. TORONTO  
 TEL (416) 703-4550/FAX (416) 703-8593

## オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料14ドル  
 小切手を添えて郵便でお申込み下さい

カナダ国内 14カナダドル(送料、GST込み)  
 アメリカ 24カナダドル(エアメール送料共)

ネーム \_\_\_\_\_  
 アドレス \_\_\_\_\_  
 郵便番号 \_\_\_\_\_

オーロラ

(代表・平塚かずよ)

**オーロラ**

# SHISEIDO

## BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー  
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メイクアップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405  
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

## ショーフレックスのお客様はすべて V. I. P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン  
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは  
ドライバーがご案内いたします。



- 空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。
- テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

**Show Flex International Inc.**

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel:(416)977-6849 Fax:(416)977-0765

# 大きな引越し、小さな引越し。 日通なら安心の大きさは同じです。

日本に送るなら、やはり日本のエキスパートに頼むのが一番です。大家族の引越しから、小さなパッケージまで、大切な荷物を確実にお預かりし、誰よりも愛情をもってお届けいたします。荷物の大きさは違っても、日通なら信頼は変わりません。

## ハートライナー

サービス内容を自由に選ぶ、オーダーメイド感覚の引越しプラン。

- 下見、見積り（無料）
- 日本人による丁寧な梱包
- 不用品の廃棄処分
- 譲渡家具の運搬・一時預かり
- カナダ国内引越し
- ピアノ・愛車・ペットなどの運送ほか
- 船便・航空便の自由な組み合わせ

## 安々パック（船便）

留学や単身赴任など、家財の少ない方のためのお手軽な引越しプラン。

- 基本パック  
一個あたりCAN\$120.00  
個数が多くなればより割安になります。
- お引取から配達までドア・ツー・ドアでお届け

## ペリカンジェットパック（航空便）

小荷物やギフトなど、ドア・ツー・ドアでお届けします。

- 料金：1Kgから70Kgまで  
1Kgごとに料金設定
- 日数：約1週間

● あなたのお近くの支店に日本語でお問い合わせください。

トロント (905) 458-1008    モントリオール (514) 631-6436  
バンクーバー (604) 278-2824    カルガリー (403) 221-1850  
ハリファクス (902) 873-3923



**カナダ日本通運**  
NIPPON EXPRESS CANADA LTD.